MEIKO

HDMIマルチビューワ

MVW42

取扱説明書



■ このたびはマルチビューワMVW42をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
■ この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
■ この取扱説明書はいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
■ ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

■ 安全上の注意　　【はじめにお読みください】

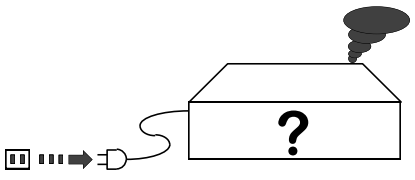
◆本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守り下さい◆

警　告

■ 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く。

煙が出たり異音やにおいがするなど異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。

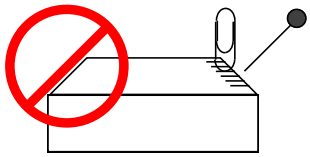
動作に異常が発生した場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから外してください。



■ 異物を入れない。

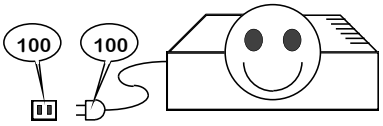
通風孔から液体や異物を入れないでください。

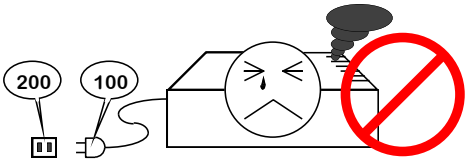
感電や発火の恐れがあります。



■ 指定された電源電圧で使う。

表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。また、ＡＣアダプタを使用する製品では付属品以外のものは絶対に使用しないでください。



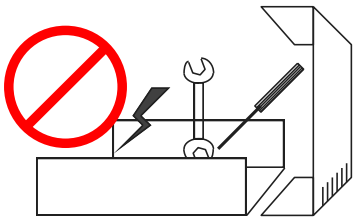


■ 本機のカバーを外したり、改造しない。

内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると危険な上、故障の原因となります。内部の点検・調整はメーカーにご依頼ください。

また、本機を改造したり、解体した状態での使用および保管は、故障や感電の原因になりますのでおやめください。

基板内のボリューム・設定ピン等は出荷時に調整されていますので手を触れないでください。これらを廻したり変更したりすると正常動作しなくなることがあります。



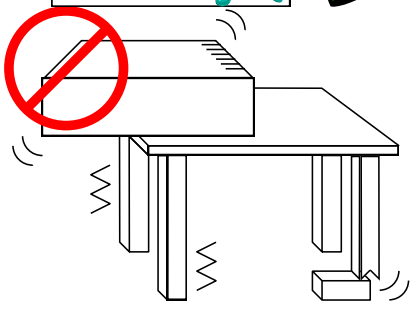
■ 本機の上に花びんやコップなどを置かない。

内部に異物や水・薬品などが入ると火災、感電の原因となります。万一内部に液体・異物等が入った場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてご購入の販売店にご連絡ください。



■ 本機を不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、振動のある場所での使用および保管は避けてください。



◆本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守り下さい◆

注 意

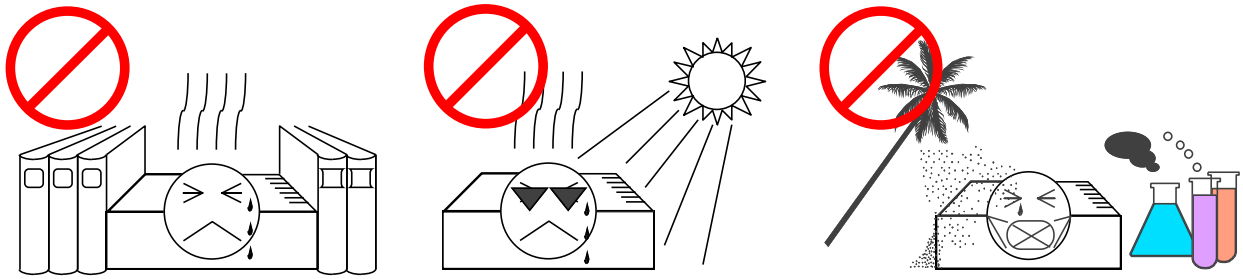
■ 本機を次のような場所に置かない。

次のような場所での使用および保管は故障や火災の原因になりますので避けてください。

●風通しの悪い所
本機には通風孔があります。通風孔をふさぐような風通しの悪い環境では使用しないでください。

●高温になる所
発熱する物の付近や直射日光の当たる場所での使用および保管は避けてください。

●ホコリや湿気の多い場所
極端に湿気の多い所やホコリの多い場所、薬品の雰囲気中などでの使用および保管は避けてください。



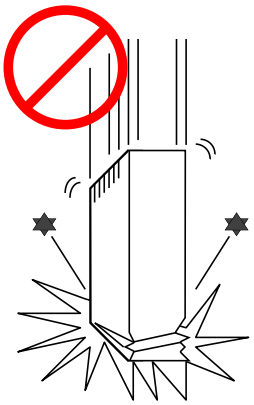
■ 本機の上に重いものを置かない。

本機の上に重いものを置かないでください。カバーを傷めたり、故障の原因となります。



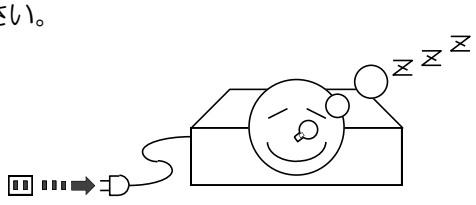
■ 衝撃を加えたり落下させない。

本機は電子精密機器ですので、衝撃を加えたり落下させないようにしてください。



■ 長期間使用しない時は電源プラグを外す。

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから外してください。



使用上の注意

■本機はマイクロプロセッサを使用していますので、極端な速さで電源ＯＮ／ＯＦＦを繰り返しますと正常動作しないことがあります。誤動作を防ぐため電源をＯＦＦして再投入する場合は数秒待ってからＯＮしてください。

■強力な電磁波の発生するものの付近で本機を使用しますと誤動作や画面ノイズが発生することがあります。このような場合は原因となるものから離してご使用ください。

■AC電源電圧はAC100～240Vのワールドワイド入力対応ですが、内部電源ユニット保護のため100V系から200V系あるいはその逆に変更後、電源を再投入する場合は必ず５分ほど経過した後に投入してください。不用意に入力を変化させますと内部電源ユニットを破損することがあります。
また、日本国内のAC100V以外で使用の際はACコードの交換が必要な場合があります。

■本機への入力信号は、電気的仕様条件に適合するものを入力してください。入力部には保護回路がありますが、仕様外の信号を入力しますと誤動作の可能性があるばかりでなく、機器を破損させることがあります。

設置における注意

■ 本機は直流ファンによる強制空冷方式です。設置の際、吸排気口をふさぐことがないようご注意ください。

■ ラックに実装する場合などの際は、仕様温度範囲を超える環境条件にならないようご注意ください。

■ 付属のラックマウント金具は、キャビネットラック取付けの際の補助的なもので、本体を支えることはできません。必ずサポートアングルをご使用ください。

■ ＡＣコードを本機及びコンセントに接続する場合には確実な差し込みを行ってください。また、コードにはストレスが掛からないようご注意ください。

目次

【1】概　要 5
【2】特　長 5
【3】梱包物の確認 6
【4】外 観 6
4-1. 外形図 6
4-2. フロントパネルの説明 7
4-3. リアパネルの説明 8
【5】操作方法 9
5-1. 電源投入・起動時間 9
5-2. フロントディスプレイ 9
5-3. キースイッチ操作方法 10
【6】メニュー設定 15
6-1. メニューツリー構成 15
6-2. ウィンドウ設定（WINDOW SELECT） 16
6-3. 出力設定（OUTPUT SETTING） 22
6-4. オーディオ設定（AUDIO SELECT） 25
6-5. EDID設定（EDID SETTING） 25
6-6. その他の機能設定（FUNCTION SETTING） 26
6-7. 情報表示（INFORMATION） 31
【7】通信コマンド制御 32
7-1. 通信仕様 32
7-2. コマンド一覧 32
7-3. コマンド詳細 33
7-4. コマンド使用時の注意事項 47
7-5. 付記 47
【8】Webコントローラ 49
8-1. 動作環境 49
8-2. 構成 49
8-3. 操作説明 50
【9】使用上のご注意 56
【10】主な仕様 57
【11】製品保証 58
【12】製品の修理・調整について 58

【1】概　要

MVW42は４入力２出力のマルチビューワです。４系統HDMI入力信号を任意のサイズ・レイアウトで最大２画面に合成表示可能です。入出力ともに最大4K60Hz(4:4:4)の解像度に対応します。

【2】特　長

■ 4K60p(4:4:4)18Gbpsの映像信号までカバー

480p、VGA～WQXGA、1080p、4Kなどの入出力解像度に対応しています。

■ イコライザ機能搭載

入力段にイコライザ機能を搭載していますので長いケーブルを経由して劣化した信号を回復し、きれいな信号で出力可能です。
注：使用可能ケーブル長は、表示モード(信号周波数)，ケーブル品質，ソース信号品質により変わります。

■ HDCP対応

入出力ともにHDCP2.2／1.4に対応しています。

■ EDIDコピーモード、EDIDプリセットモード機能搭載

各入力のEDID情報を解像度別であらかじめ登録されている設定を使用（プリセットモード）するか、出力に接続された機器のコピーを使用（コピーモード）するか選択できます。

■ 自由なサイズ・レイアウト表示機能

計4chのウィンドウをIN1～4の任意の入力信号に設定(重複可）でき、それぞれのウィンドウはトリミング(ズーム)、自由なサイズ・位置調整が可能です。

■ 出力デュアル機能

2画面出力対応。4ウィンドウを出力１・２のどちらに表示するか選択可能です。(デュアルモードの場合、1画面中に同時3ウィンドウ表示まで)

■ ＬＡＮによるリモート制御

イーサネットによるネットワーク制御が可能です。(10BASE-T/100BASE-TX)。制御コマンドにてユーザープログラムによる詳細な制御も可能です。

■ ＶＦＤ表示パネルとフロントキーによる簡単操作

表示状態が見やすいドットマトリクスVFD(蛍光表示管)と照光式キーを採用。8つのパターンキーと上下左右キーやシフトキーによる直感的な操作が可能です。

■ 各入力に対応したタイトル表示

入力1～4に対応したタイトル(BMPデータ)を表示可能。タイトル位置は自由に設定できます。

■ セレクター機能

モード切替により 4:1 セレクターとしても使用できます。

■ クロマキー機能

本機のみでハードウェアによるリアルタイムクロマキー合成処理が可能です。

■ ＥＩＡ規格準拠のラックマウントが可能

■ ワールドワイド入力対応（ＡＣ１００～２４０Ｖ）

【3】梱包物の確認

梱包物の中に、下記の物が入っているかご確認ください。

＜梱包品リスト＞

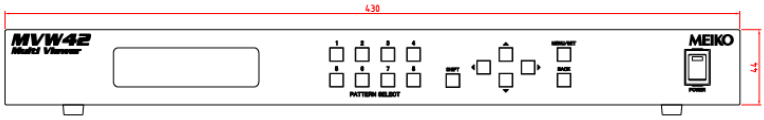
本体	1台
取扱説明書（本書）	1部
電源ケーブル	1本（2m）
ラックマウント金具	2個
ケーブルクランプ	7個

万一、内容物に不備がある場合には、弊社営業窓口までお問い合せください。

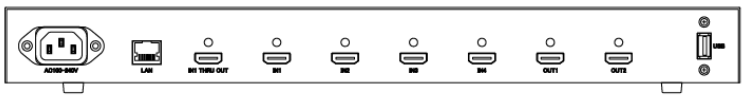
【4】外 観

4-1. 外形図

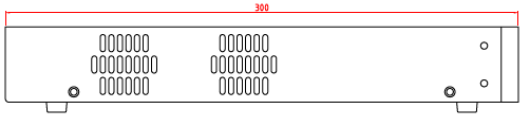
■ 外形寸法図



外観図フロント



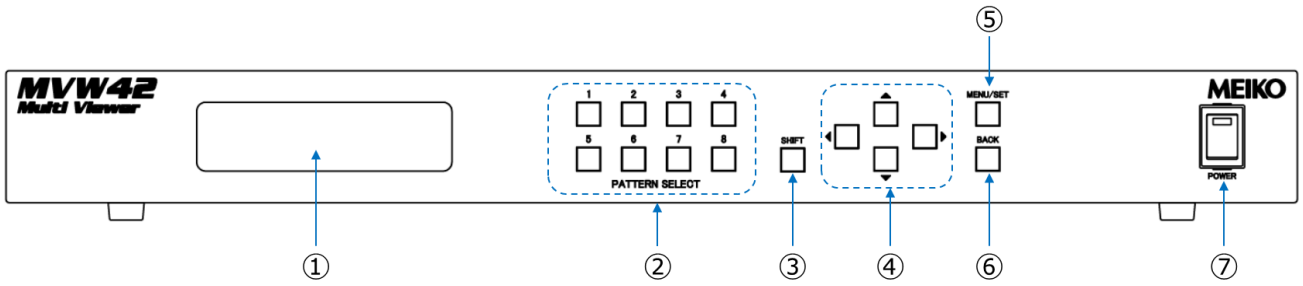
外観図リア



外観図サイドパネル(左)

外形寸法＝430(W)×44(H)×300(D)mm ［ＥＩＡ規格1Uに準拠］（寸法は突起物を除く）

4-2. フロントパネルの説明



①フロントディスプレイ
設定内容・メニューなどを表示します。

②パターン選択キー（PATTERN SELECT）
登録されているパターンを選択し、その内容で画面表示します。パターン選択中はそのキーが点灯します。
パターンキーを長押しすることにより、メニュー設定で編集した表示設定をそのパターン番号に保存することができます。
機能メニューにて「セレクタモード」にした場合、入力切替や切替演出の設定キーとなります。

③シフトキー（SHIFT）
メニュー設定時、数値の桁の移動に使用します。シフトキーを押すごとに桁カーソルが左に移動します。
シフトキーが点灯中に操作が有効になります。

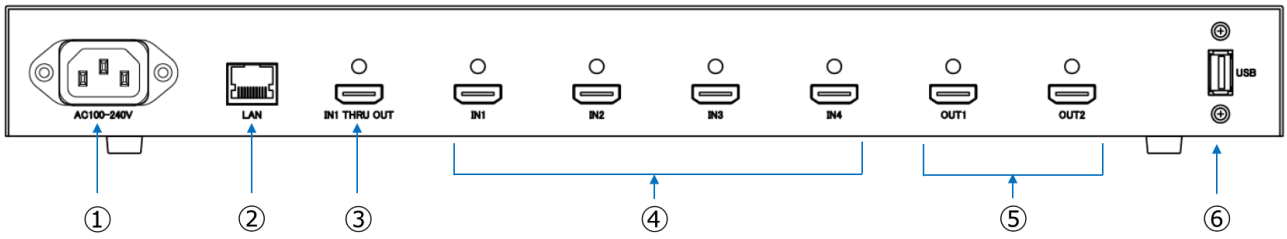
④上下左右キー
メニューの切り換え、カーソルの移動、設定値の変更などに使用します。

⑤メニュー・決定キー（MENU/SET）
トップ画面時（パターン番号表示中）に押すことでメニュー設定に移ります。メニュー表示中は設定の決定、次の階層への移動に使用します。

⑥戻るキー（BACK）
メニュー表示中に上の階層へ戻ります。

⑦電源スイッチ（POWER）
本機の電源をON/OFFします。電源ON時には緑LEDが点灯します。

4-3. リアパネルの説明



①AC電源インレット
付属の電源コードを接続します。

②LAN端子
LAN通信にて本機をリモート制御する際に使用します。

③HDMIコネクタ　スルーOUT端子
HDMI IN1の信号をそのままスルーで出力します。本機を2台使用し同期モードで表示する際などに使用します。

④HDMI入力コネクタ　（左からIN１，２，３，４）
4系統のHDMI入力端子です。PCやBDプレーヤーなどのソース機器を接続します。最大4K60p（4:4:4）フォーマットまで入力可能です。
注１：IN1，IN2は（4:2:0）フォーマットの入力に非対応です。
注２：Win3，Win4は動き適応型I/P変換に非対応です。

⑤HDMI出力コネクタ　（左からOUT1，2）
2系統のHDMI出力端子です。それぞれ最大4K60p（4:4:4）フォーマットまで出力可能です。
デュアル(別画面)モードでは2系統で別の解像度で出力できます。クローン(分配)モードでは2画面同一の解像度での出力となります。

⑥USB端子
タイトル画像データのアップデートに使用します。詳細は“6-2-7．タイトル画像データのアップデート”をご参照ください。

【5】操作方法

5-1. 電源投入・起動時間

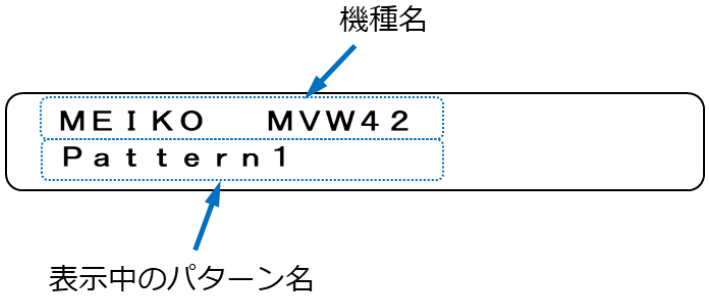
本機のPOWERスイッチをON後、イニシャライズ時間、次にタイトルBMPデータの読み込み時間(画像サイズによって増減)、その後動作開始しフロントキー操作が有効になります。
（初期状態で起動時間約10秒）

起動後は、前回電源断のときに選択されていたパターンを引き続き表示します（ラストメモリー）。

5-2. フロントディスプレイ

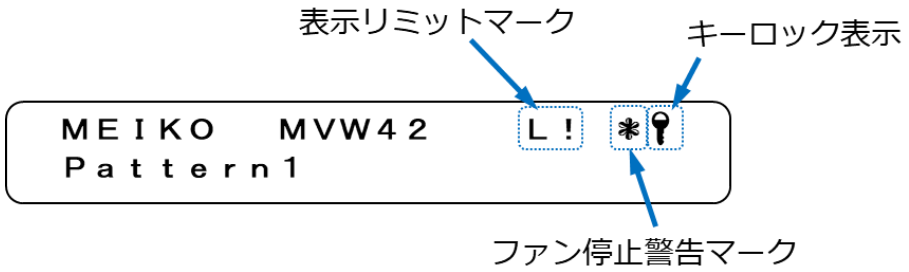
フロントディスプレイには各種情報・メニュー内容などが表示されます。

図：トップ画面（通常画面）



パターン名はデフォルトの名称が表示されます。PCからのリモート制御により任意の名称に変更が可能です。（フロントキーでの変更はできません）

図：トップ画面（追加情報マーク）



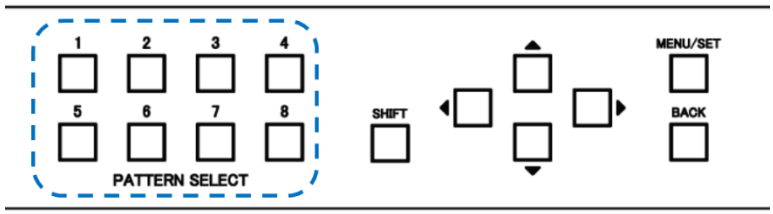
・表示リミットマーク
映像の解像度が大きい信号を多数入力した場合など本機のメモリの処理容量を超える場合、上図のように“ L！”が表示され出力画像が乱れる場合があります。

・ファン停止警告マーク
機器内部の冷却ファンが停止状態のときに点滅します。マークが点滅し消えない場合、弊社までご連絡ください。

・キーロック表示
キーロック状態のときに表示されます。この表示があるときはキー操作が無効になります。

5-3. キースイッチ操作方法

5-3-1. パターン選択キー

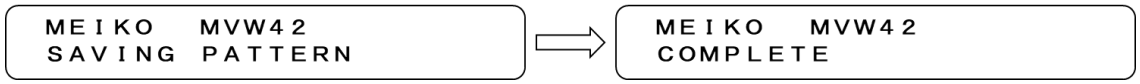


表示パターンの選択に使用します。押した番号に登録された表示パターンに切り換わります。通常時、現在選択されている表示パターン番号のキーが点灯します。

※機能メニューの「セレクタモード」をONにすると上記の8個のパターン選択キーの機能内容が変わります。詳しくは“6-6-1.セレクタモード”を参照ください。

5-3-2. 編集後のパターンの保存

パターン選択キーを長押しすると、メニューにて変更・調整した現在表示中のパターン設定をその番号に保存・登録することができます。保存中・完了後は下図のようにメッセージが表示されます。



パターンは32パターンまで登録できます。フロントキーでの切換・保存はパターン8まで可能です。9以降はリモート制御にて設定・変更できます。

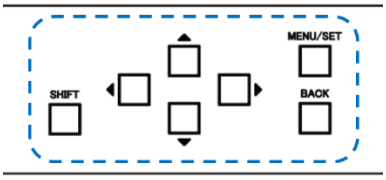
※メニュー設定画面中に上記の8つのパターン選択キーのいずれかを押すとトップ画面に戻ります。その時点で保存していない編集中の内容はクリアされますのでご注意ください。

＜パターンとして保存される内容＞

設定情報	メニュー項目
各ウィンドウに対応する入力端子番号	INPUT SELECT
各ウィンドウのサイズ/位置	SIZE&POSITION
入力トリミングサイズ/位置	TRIM SIZE&POS
ウィンドウ表示優先度	PRIORITY
各ウィンドウのタイトルON/OFFと位置	TITLE
各ウィンドウの出力端子	OUTPUT SELECT
各ウィンドウの反転表示ON/OFF	FLIP
マルチモニター設定	MULTI MONITOR
出力同期モード設定	SYNCRONIZE MODE
オーディオ選択設定	AUDIO SELECT

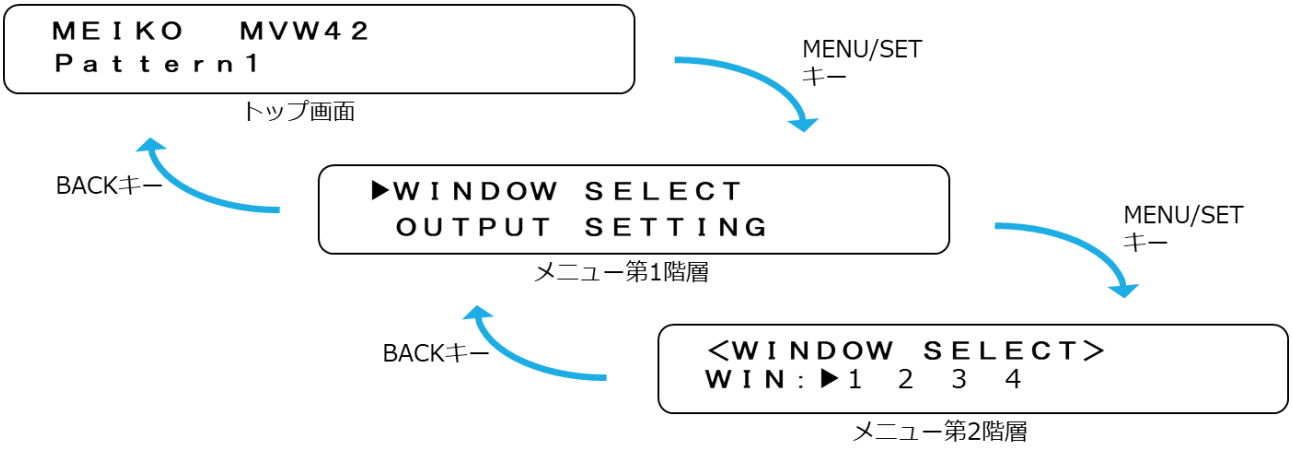
各項目の詳細は“【6】メニュー設定”を参照ください。

5-3-3. メニュー操作キー

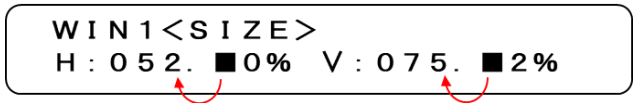


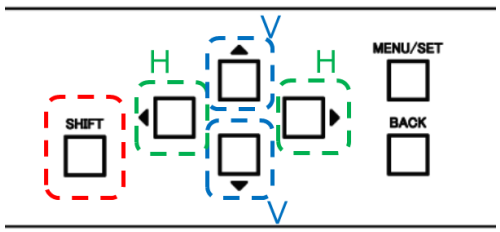
現在操作可能なキーが緑色に点灯します。

トップ画面でMENU/SETキーを押すとメニュー画面に入ります。
メニューではカーソル（▶）を上下キーで選び、再度MENU/SETキーにてその下の階層へ移り、設定や数値の調整を行います。
メニュー内ではBACKキーにて元の階層に戻ります。



・数値入力の際のキー操作
カーソルが点滅している数値を、Hの値は左右キーで変更しVの値は上下キーで変更します。
SHIFTキーを押す毎にカーソル桁が左に移動します。（H,V同時に桁移動します。）

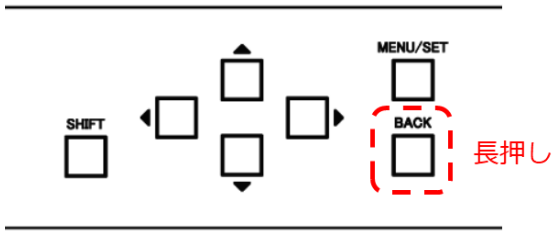




※数値設定の際、上下左右キーは押し続けることで連続で数値が変わります。数秒押し続けることでさらに高速に数値が変わります。
※ウィンドウ設定などのとき、左右キー（H）は右で数値増・左で減になります。上下キー（V）は下で数値増・上で減となります。（画面左上を基準0%としているため。）**実際の出力映像でウィンドウを動かしたい方向・広げたい方向とキー操作が一致するようになっています。**

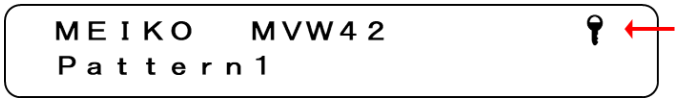
5-3-4. キー操作のロックと解除

トップ画面の表示時に**BACKキーの長押し**でキーロックができます。



キーロック中はフロントパネルの全てのキー操作が無効になります。キーロック中に再度BACKキーを長押しすることで解除できます。

キーロック中はフロントディスプレイに🔑マークが表示されます。



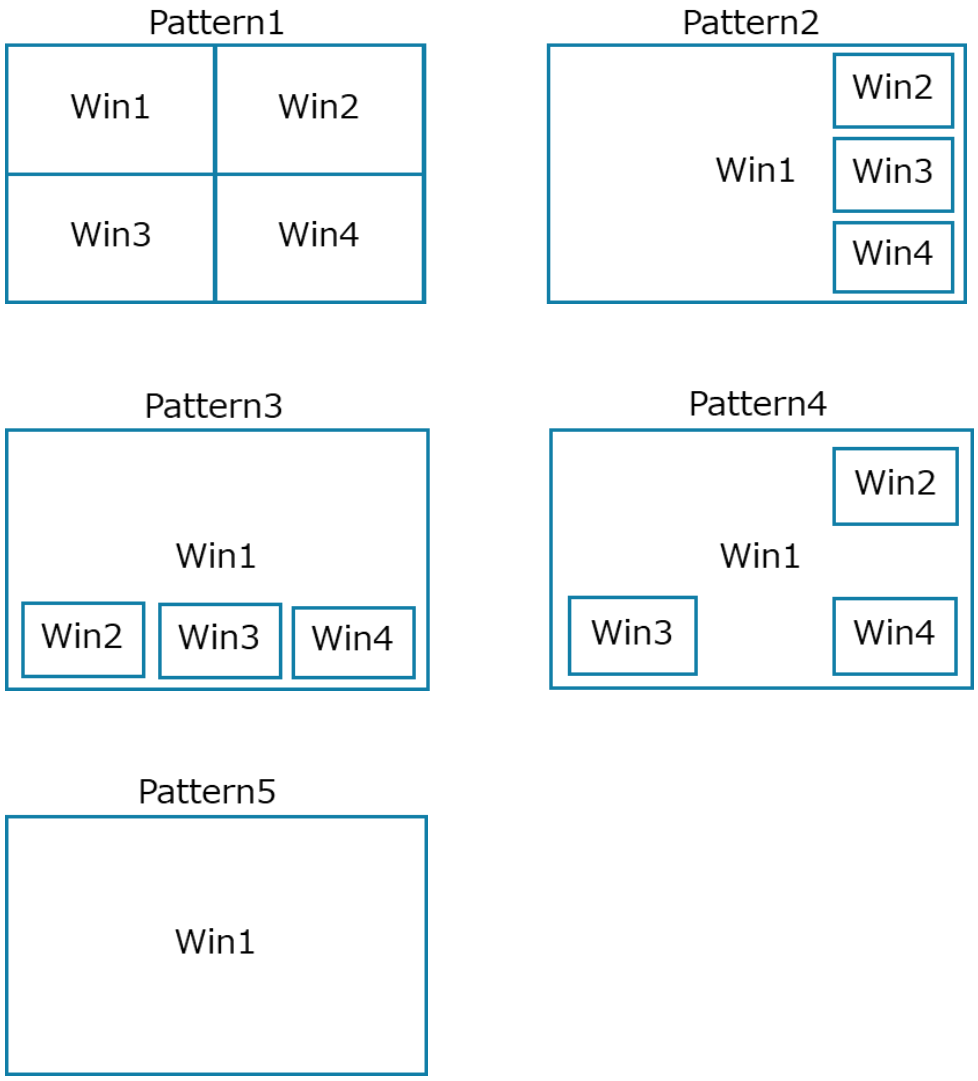
キーロック中にキー操作をすると下図のエラーメッセージが表示されキー入力は無効になります。

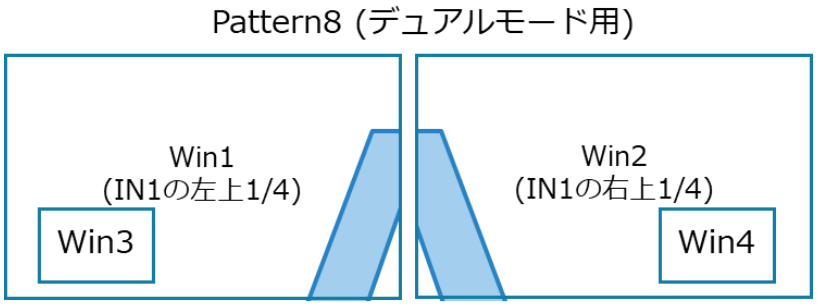


5-3-4. デフォルトウィンドウパターン

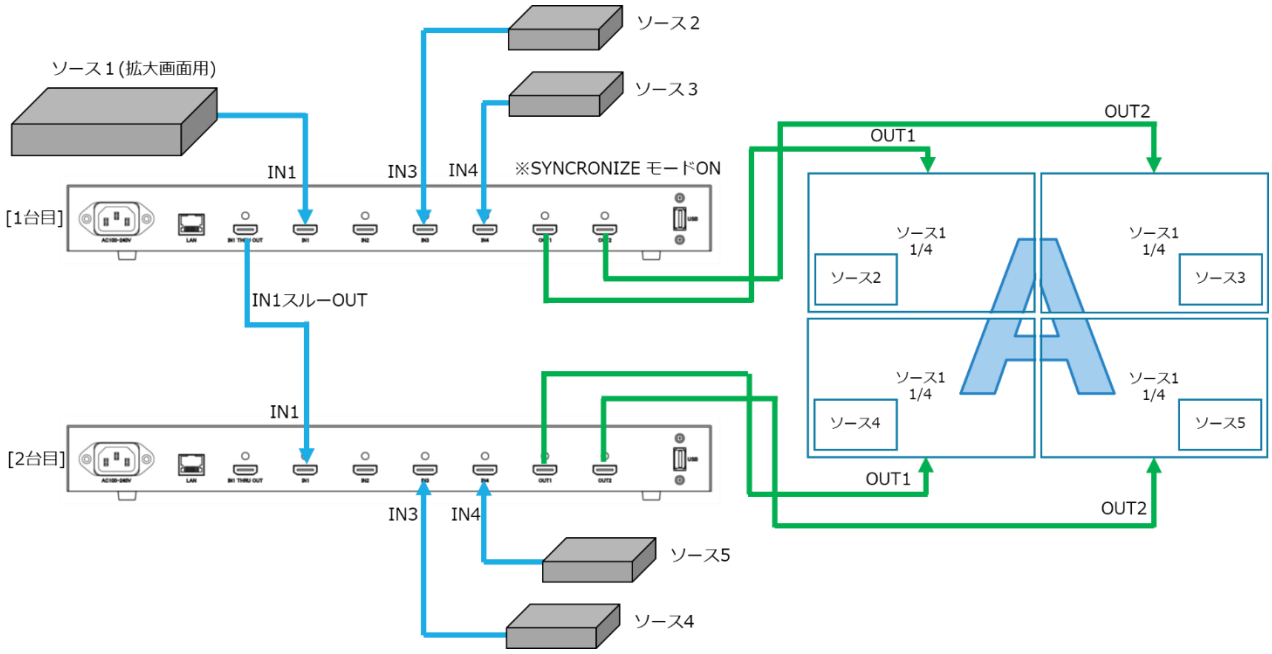
本機は初期ウィンドウパターンとして以下の８種類がパターンキー１～８に登録されています。

図：デフォルトパターン





※Pattern8を応用して本機を2台使用した4ディスプレイ拡大表示ができます。下図参照

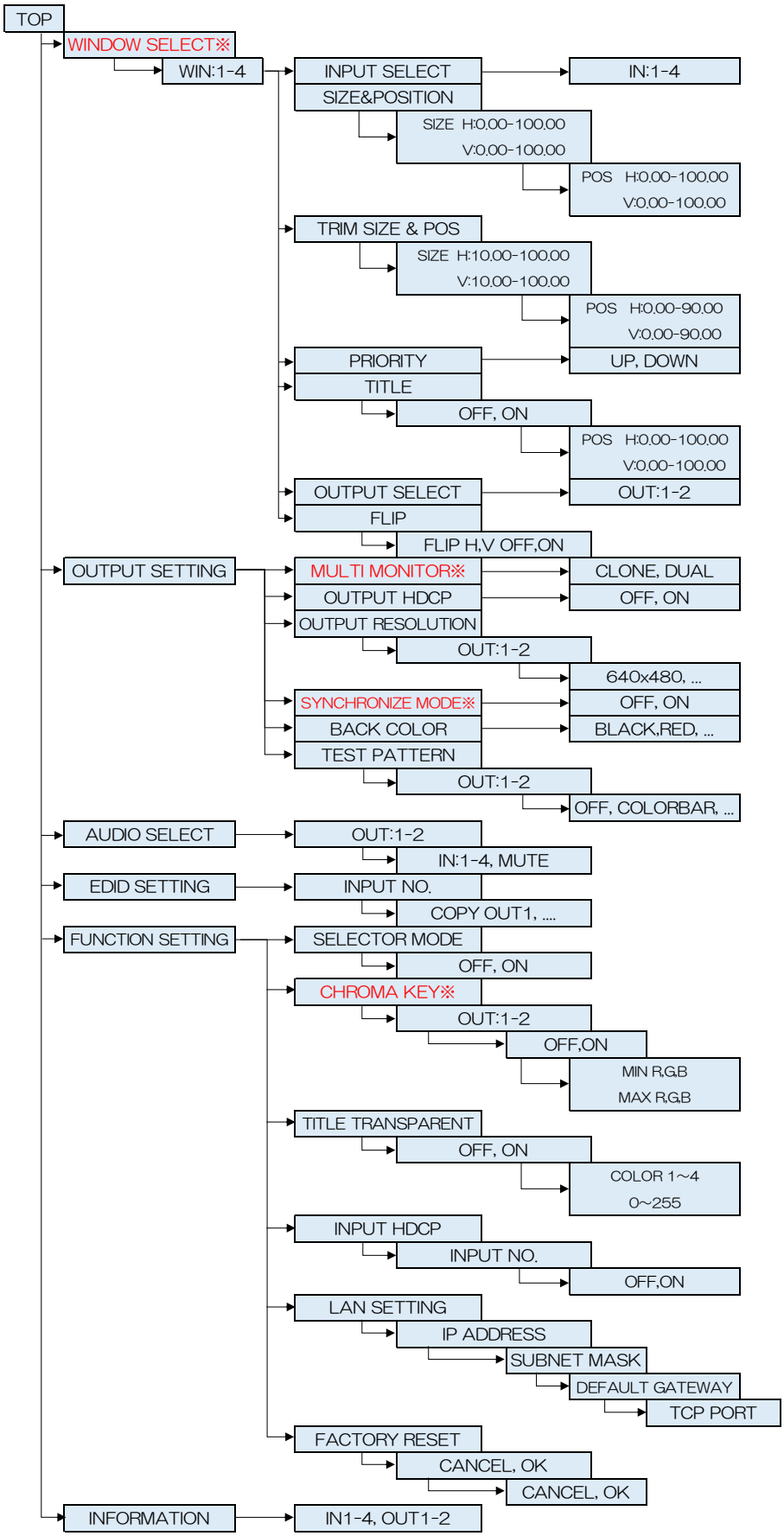


メニュー設定例
[2 台目]Pattern8 編集
・OUTPUT SETTING→MULTI MONITOR→ “DUAL”
・OUTPUT SETTING→SYNCHRONIZE MODE→ “ON”
・WINDOW SELECT→ “WIN1”
→INPUT SELECT→ “IN1”
→SIZE POSITION→SIZE “H:100%, V:100%” ,POSITION “H:0%, V:0%”
→TRIM SIZE&POS→SIZE “H:50%, V:50%” ,POSITION “H:0%, V:50%”
・WINDOW SELECT→ “WIN2”
→INPUT SELECT→ “IN1”
→TRIM SIZE&POS→SIZE “H:100%, V:100%” ,POSITION “H:0%, V:0%”
→INPUT TRIMMING→SIZE “H:50%, V:50%” ,POSITION “H:50%, V:50%”

【6】メニュー設定

6-1. メニューツリー構成

※印：セレクタモード時に操作できないメニュー



6-2. ウィンドウ設定（WINDOW SELECT）

メニュー第一階層にて「WINDOW SELECT」を選択します。

6-2-1. ウインドウ選択（WINDOW SELECT）

```
＜ＷＩＮＤＯＷ　ＳＥＬＥＣＴ＞
ＷＩＮ：▶１　２　３　４
```

操作したいウィンドウを左右キーで選択します。これより下層はここで選んだウィンドウの操作・調整を行ないます。

6-2-2. 入力選択（INPUT SELECT）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → INPUT SELECT]

```
ＷＩＮ１＜ＩＮＰＵＴ　ＳＥＬＥＣＴ＞
ＩＮ：▶１　２　３　４
```

ウィンドウセレクトで選択したウィンドウに対応するHDMI入力端子番号を設定します。これは重複可能で、例えばウィンドウ4つともIN１に設定することも可能です。

6-2-3. ウインドウサイズ＆位置調整（SIZE＆POSITION）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → SIZE＆POSITION]

出力画面上のウィンドウのサイズと位置を変更・調整することができます。

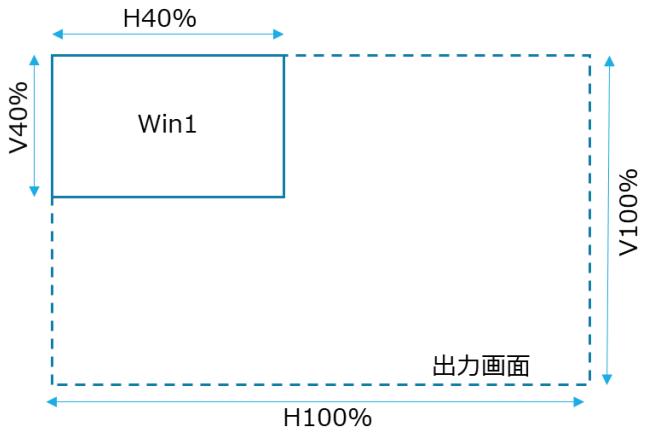
＜SIZE画面＞

```
ＷＩＮ１＜ＳＩＺＥ＞
Ｈ：０４■．００％　Ｖ：０４■．００％
```

設定範囲：0～100%

ウィンドウのサイズを出力フル画面の%で指定します。（左上を起点とします）
数値は0～100%で設定でき、0%にするとウィンドウ非表示となります。
水平Hの値は左右キーで、垂直Vの値は上下キーで変更します。SHIFTキーでカーソル桁移動ができます。各数値は0.01%単位で調整できます。数値はウィンドウが画面からはみ出さないような範囲に制限されます。（設定可能範囲：H,VそれぞれSIZE＋POSITION≦100%）
数値を変更すると同時に実際の出力映像も変更されます。映像を見ながらの調整も可能です。

図：ウィンドウサイズ



サイズ設定画面でMENU/SETキーを押すと次のPOSITION設定へ進みます。BACKキーで上の階層に戻ります。（BACKで戻っても調整した数値はそのまま残ります）

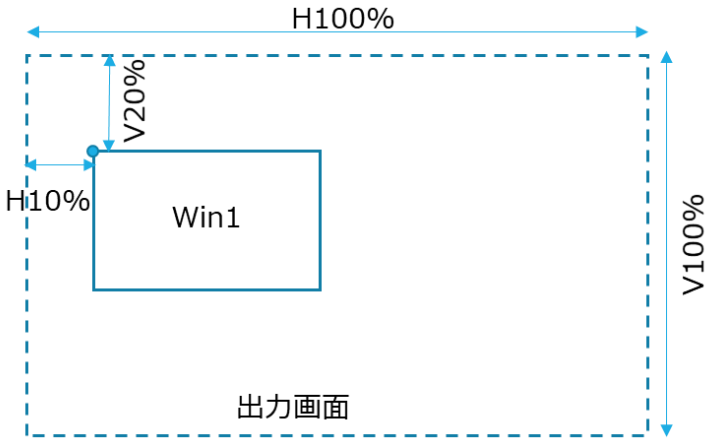
＜POSITION画面＞

```
WIN1<POSITION>
H:010.■0%  V:020.■0%
```

設定範囲：0～100%

ウィンドウの左上点の位置を、出力フル画面を100とした時の%で指定します。（左上を起点とします）　各数値は0.01%単位で調整できます。数値はウィンドウが画面からはみ出さない範囲に制限されます。（設定可能範囲：H,VそれぞれSIZE＋POSITION≦100%）

図：ウィンドウ位置



6-2-4. トリミングサイズ&位置調整（TRIM SIZE & POS）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → SIZE&POSITION]

入力画像の一部を切り出します。切り出した画像がウィンドウいっぱいに表示されます。
入力画像フルサイズに対する切り出しサイズと位置の調整が可能です。

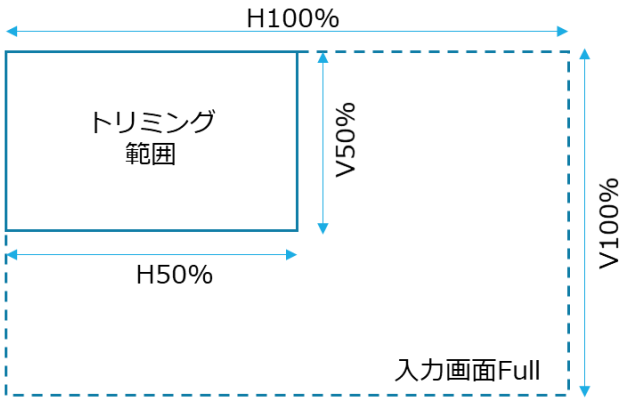
＜TRIMMING SIZE画面＞

```
WIN1<TRIMMING  SIZE>
H:050.■0%  V:050.■0%
```

設定範囲：10～100%

入力画面から切り出す範囲を、入力フル画面の%で指定します。（左上を起点とします）
各数値は0.01%単位で調整できます。数値は入力画面からはみ出さない範囲に制限されます。（設定可能範囲：H,VそれぞれSIZE＋POSITION≦100%）

図：トリミングサイズ



トリミングサイズ設定画面でMENU/SETキーを押すと次のトリミングポジション設定へ進みます。
BACKキーで上の階層に戻ります。（BACKで戻っても調整した数値はそのまま残ります）

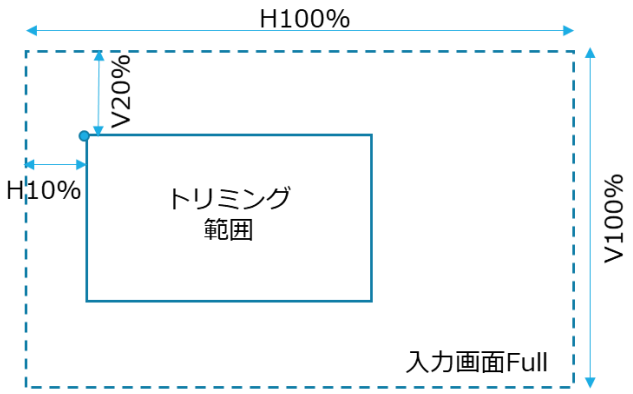
＜TRIMMING POSITION画面＞

```
WIN1<TRIMMING  POS>
H:010.■0%  V:020.■0%
```

設定範囲：0～90%

入力画面から切り出す画像の左上点の位置を、入力フル画面の%で指定します。（左上を起点とします）
各数値は0.01%単位で調整できます。数値は入力画面からはみ出さない範囲に制限されます。（設定可能範囲：H,VそれぞれSIZE＋POSITION≦100%）

図：トリミング位置



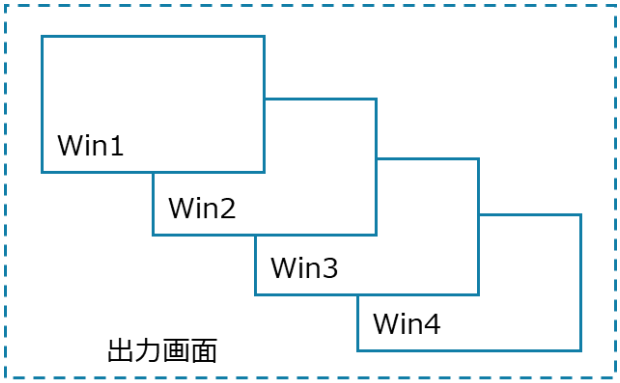
6-2-5. プライオリティ設定（PRIORITY）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → PRIORITY]

```
WIN1<PRIORITY>
front:UP  back:DOWN
```

選択中ウィンドウの表示優先度を設定します。上キーにて優先度が一つ上がり(他のウィンドウより前面に表示)、下キーにて一つ下がります。

図：プライオリティ（Win1>Win2>Win3>Win4）



6-2-6. タイトル付加設定（TITLE）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → TITLE]

```
WIN1<TITLE ENABLE>
▶OFF  ON
```

ウィンドウのタイトル表示のON/OFFを設定します。ONを選択した場合、次のタイトル位置設定に進みます。
※タイトルはHDMI入力端子（IN1～4）と紐付いており、ウィンドウ番号とは関連しません。

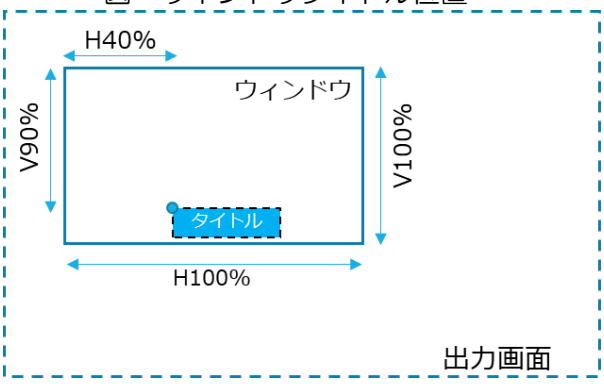
＜TITLE POSITION画面＞

```
WIN1<TITLE POSITION>
H:040.■0%  V:090.■0%
```

設定範囲：0～100%

ウィンドウタイトルの左上点の位置を、ウィンドウサイズの%で設定します。（左上基準）
タイトルのサイズはBMPデータサイズで決定されており、拡大縮小はできません。

図：ウィンドウタイトル位置



6-2-7. タイトル画像データのアップデート

タイトルの画像データはUSBメモリを使用して変更することが可能です。

USBメモリでのタイトル画像アップデート方法

①PCでタイトル用のビットマップ画像データを作成します。
タイトルは入力端子と対応していますので、入力１用/入力2用/入力3用/入力4用として作成します。
画像データは256色BMPフォーマットで作成してください。
ファイル名はそれぞれ“input1.bmp”，“input2.bmp”，“input3.bmp”，“input4.bmp”とする必要があります。

②作成したBMPファイルをUSBメモリの最上位階層に保存します。

③ファイルを保存したUSBメモリを本機背面のUSB端子に挿入します。

④メニュー設定の第一階層にて“INFORMATION”を選択します。

```
<INFORMATION>
IN1：1920x1080  60Hz ◆
```

この画面にて「右キー」を数秒間押し続けるとファイルの読み込みが行なわれます。

```
READ USB MEMORY
```

⑤終了すると“COMPLETE”が表示され、その後INFORMATIONメニューへ戻ります。

```
READ USB MEMORY
COMPLETE
```

⑥本機を再起動（電源をOFF→ON）します。

以上でアップデート完了です。

※実際に表示されるタイトルはBMP画像の2倍のドットサイズとなります。
※各タイトル画像の最大値は1000×1000ドットまで可能です。
※タイトル画像の大きさはウィンドウとは無関係で固定です。ウィンドウサイズを変えてもタイトルは連動して拡大縮小しません。またドット数固定なので、出力解像度が小さくなると相対的にタイトルは大きく表示されます。
※USBメモリ読み込みで“ERROR”表示になる場合、ファイル名が正しいか確認してください。正しい場合、USBメモリを挿し直し再度読み込みをお試しください。

6-2-8. ウインドウ出力先選択（OUTPUT SELECT）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → OUTPUT SELECT]

```
WIN1<OUTPUT SELECT>
OUT:▶1 2
```

選択中のウィンドウを表示する出力先を設定します。

※クローンモードの場合、CLONEと表示され全てのウィンドウはOUT1,OUT2両方に同じ画面として出力されます。
※デュアルモードの場合、ウィンドウ１はOUT1に、ウィンドウ２はOUT2に出力が固定されており、変更することはできません。

6-2-9. 表示反転設定（FLIP）

[TOP MENU → WINDOW SELECT → FLIP]

```
WIN1<FLIP>
H: ON ◀▶ V:OFF ▲▼
```

選択中のウインドウ画面の左右反転・上下反転表示を設定します。
左右キーで左右反転、上下キーで上下反転それぞれのON/OFFが可能です。


FLIP OFF


FLIP H ON


FLIP V ON


FLIP H,V ON

6-3. 出力設定（OUTPUT SETTING）

メニュー第一階層にて「OUTPUT SETTING」を選択します。

6-3-1. マルチモニター設定（MULTI MONITOR）

[TOP MENU → OUTPUT SETTING → MULTI MONITOR]

```
<MULTI MONITOR>
▶CLONE   DUAL
```

出力モニターへの表示モードを設定します。

クローンモードは同じ映像を２つの出力に分配出力します。

デュアルモードは２つの出力にそれぞれ違う映像を出力します。デュアルモードは２つの出力を合わせて4ウィンドウまで表示できます。ディスプレイを跨いだウィンドウ表示はできません。

6-3-2. 出力HDCP設定（OUTPUT HDCP）

[TOP MENU → OUTPUT SETTING → OUTPUT HDCP]

出力信号のHDCP付加状態を設定します。出力１，２共通設定です。

```
<OUTPUT HDCP>
▶OFF   ON
```

HDCPの表示条件は下記の表のようになります。

入力信号の HDCP 有無	出力の HDCP 設定	出力-シンク機器間 HDCP 認証	表示状態
なし	---	---	映像表示
あり	OFF	---	バックカラー
	ON	成功	映像表示
		失敗	バックカラー

6-3-3. 出力解像度設定（OUTPUT RESOLUTION）

[TOP MENU → OUTPUT SETTING → OUTPUT RESOLUTION]

```
<OUTPUT NO.>
OUT:▶1  2
```

左右キーで出力端子の番号を選択し、MENU/SETキーを押すと次の解像度選択画面に移ります。
※マルチモニター設定でクローンモードにした場合、この画面は表示されず次の選択画面になります。
（解像度は出力１，２共通となります。）

解像度選択画面

```
OUT1<RESOLUTION>
NO. 04:  4K UHD@30
```

上下キーで出力解像度を選択します。 “USER1～3”は出荷時にユーザー希望の解像度を登録可能です。

＜解像度番号一覧＞

01：4K DCI@60
02：4K DCI@30
03：4K UHD@60
04：4K UHD@30
05：1080p
06：1920x1200
07：1600x1200
08：1400x1050
09：1280x1024
10：1024x768
11：800x600
12：640x480
13：USER1
14：USER2
15：USER3

6-3-4. 同期モード設定（SYNCHRONIZE MODE）

[TOP MENU → OUTPUT SETTING → SYNCHRONIZE MODE]

```
<SYNCHRONIZE MODE>
▶OFF  ON
```

入力１からの映像信号と同期した出力信号(OUT1,2)とする場合ONに設定します。
本機を複数台使用し同期表示する場合に使用します。

入力1と出力の映像フォーマットが一致している必要があります。入力１の信号が無い場合、非同期で動作します。

6-3-5. バックカラー設定（BACK COLOR）

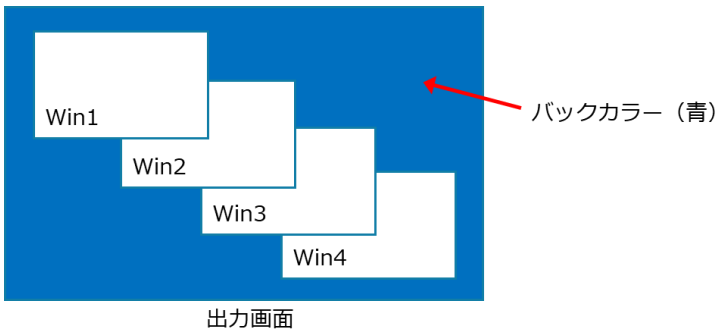
[TOP MENU → OUTPUT SETTING → BACK COLOR]

```
<BACK COLOR>
NO. 4: BLUE
```

背景表示色を設定します。設定した色はOUT1,2共通となります。バックカラーはウィンドウ表示外の色・ウィンドウの入力が無い部分・ウィンドウの入力切替中の画面色となります。

上下キーにて色を選択し、MENU/SETキーまたはBACKキーにて上メニューに戻ります。

＜カラー番号＞
1：BLACK
2：RED
3：GREEN
4：BLUE
5：WHITE



6-3-6. テストパターン表示（TEST PATTERN）

[TOP MENU → OUTPUT SETTING → TEST PATTERN]

```
<OUTPUT NO.>
OUT: ▶1  2
```

まずテストパターンを表示する出力端子番号を選択します。
左右キーで出力端子番号を選択し、MENU/SETキーで次のテストパターン選択画面に移ります。マルチモニター設定でクローンモードにした場合、この画面は表示されず次の選択画面になります。

テストパターン選択画面

```
<TEST PATTERN>
NO. 02:COLOR BAR H
```

上下キーでパターン番号を選択します。BACKキーで上のへ戻ります。OUTPUT SETTINGメニューに戻ると、表示されているテストパターンは解除され通常表示に戻ります。

＜テストパターン一覧＞

01：OFF	
02：COLOR BAR H	：横線カラーバー
03：COLOR BAR V	：縦線カラーバー
04：GRAY SCALE	：グレイスケール
05：FILL RED	：赤単色表示
06：FILL GREEN	：緑単色表示
07：FILL BLUE	：青単色表示
08：FILL WHITE	：白単色表示
09：CHECK	：チェックパターン
10：CROSS	：クロスハッチパターン
11：SLIDE	：白縦線横移動
12：STRIPE	：白縦縞

6-4. オーディオ設定（AUDIO SELECT）

各出力端子へ出力するオーディオソースを入力１～4の中から選択します。

[TOP MENU → AUDIO SELECT]

```
<AUDIO SELECT>
OUT:▶1  2
```

まず設定する出力端子番号を選択します。左右キーで選択し、MENU/SETキーで次の入力端子番号選択画面へ進みます。
※マルチモニター設定でクローンモードにした場合、この画面は表示されず次の入力選択画面になります。（オーディオ設定は出力1, 2共通となります。）

```
OUT1<AUDIO SELECT>
IN:▶1  2  3  4  MUTE
```

左右キーで対応する入力端子番号またはミュートを選択します。

6-5. EDID設定（EDID SETTING）

4つの入力端子に保存するEDIDデータを設定します。

[TOP MENU → EDID SETTING]

```
<INPUT NO.>
IN:▶1  2  3  4
```

まずEDIDを変更する入力端子番号を選択します。左右キーで選択し、MENU/SETキーで次のEDID設定画面へ進みます。

EDID設定画面

```
IN1<EDID SETTING>
NO. 01:  COPY  OUT1
```

上下キーで選択した入力番号に設定するEDIDを選択します。表示した段階で不揮発メモリに書き込まれますので、MENU/SETキーは使いません。BACKキーにて上の入力選択画面に戻ります。

＜EDID一覧＞

01：OUT1 COPY
02：OUT2 COPY
03：640x480
04：800x600
05：1024x768
06：1280x768
07：1280x800
08：1280x960
09：1280x1024
10：1360x768
11：1366x768
12：1400x1050
13：1440x900
14：1600x900
15：1600x1200
16：1680x1050
17：1920x1080
18：1920x1200
19：2048x1152
20：480p
21：1080i
22：720p
23：1080p
24：4K@30 4:4:4
25：4K@60 4:4:4

※01、02はOUT端子にディスプレイの接続が無いと「OUT1 NONE」「OUT2 NONE」と表示されます。

6-6. その他の機能設定（FUNCTION SETTING）

6-6-1. セレクタモード（SELECTOR MODE）

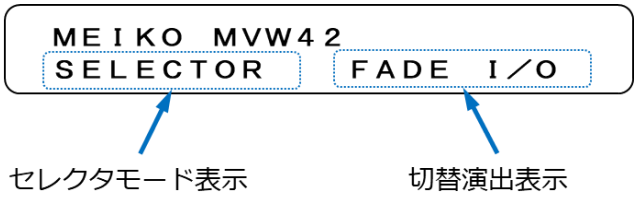
[TOP MENU → FUNCTION SETTING → SELECTOR MODE]

```
<SELECTOR MODE>
 OFF▶ON
```

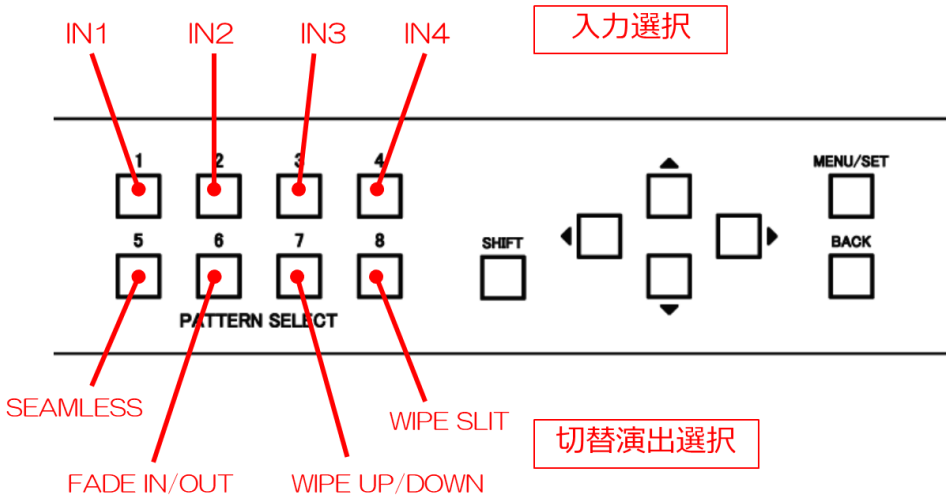
左右キーでセレクタモードのON/OFFが設定できます。
セレクタモードにすると、現在表示中のウィンドウパターン設定が解除され、各入力IN1～4がそれぞれフルサイズ表示となり、単面表示を切り替えるモードになります。
※セレクタモードをON→OFFに切り替えた場合、ONにする直前のパターン表示に復帰します。

切替時の演出を以下の4種類から選択することが可能です。
・シームレス
・フェードイン／アウト
・ワイプ（上下）
・ワイプ（スリット）

セレクタモード中はトップ画面が下記の表示となります。



セレクタモード中は、フロントパネルの8個のPATTERN SELECTキーの操作の内容が変わり、下図のようになります。選択中のキーが点灯します。



※セレクタモード設定中はウィンドウ設定などいくつかのメニューが操作不可となります。（メニュー表示されない→“6-1. メニューツリー構成”参照）
※セレクタモード時のマルチモニター設定は自動でクローンモード固定となります。

6-6-2. クロマキー設定（CHROMA KEY）

[TOP MENU → FUNCTION SETTING → CHROMAKEY]

```
＜CHROMA　KEY＞
OUT：▶1　2
```

まず出力の選択画面が表示されます。設定したい出力の番号を選択します。マルチモニター設定がクローンの場合この画面は表示されず次の画面に移ります。
※クローンモード時はクロマキー対象ウィンドウはWIN１固定、デュアルモード時のクロマキー対象ウィンドウはWIN1、WIN2固定となります。
※クロマキーON時は対象ウィンドウが自動的にプライオリティ最前面になります。

```
OUT１＜CHROMA　KEY＞
　OFF▶ON
```

ここでONを選択するとWIN1に対するクロマキー機能がONになり、次の透過色設定に移ります。

キーカラーの最小値設定

```
OUT１＜CHROMA　COLOR＞
MIN：　R010　G02■　B010
```

設定範囲：0～255

次にクロマキー機能で透過させる色空間（キーカラー）の最小値をR,G,Bで設定します。R,G,Bそれぞれ256段階で設定可能です。左右キーでR/G/Bの移動・上下キーで数値の増減・MENU/SETキーで次の最大値設定に移ります。

キーカラーの最大値設定

```
OUT１＜CHROMA　COLOR＞
MAX：　R020　G25■　B020
```

設定範囲：0～255

透過させるキーカラーの最大値をR,G,Bで設定します。数値を変えた段階で画面に反映されます。

※キーカラーの範囲を大きくすると意図しない色がキーカラーとして認識される場合があります。
※キーカラーのウィンドウのカラーフォーマットは入出力一致を推奨します。

WIN１(クロマキー)



キーカラー(透過色)

WIN３



オーバーレイ



6-6-3. タイトル色透過（TITLE TRANSPARENT）

[TOP MENU → FUNCTION SETTING → TITLE TRANSPARENT]

```
<TITLE TRANSPARENT>
 OFF▶ON
```

ONを選択するとタイトル色透過が実行されタイトル画像中の指定の色が透過します。MENU/SETキーで次の色設定画面に移ります。

```
<TITLE TRANS COLOR>
A00■  B000 C000 D000
```

設定範囲：0～255

タイトルの透過色を設定します。A/B/C/D計4色まで設定可能です。タイトルで使用している256色BMP画像の色番号（カラーパレット番号）で設定してください。



元タイトル　「白」透過　「赤・青・緑」透過

6-6-4. 入力HDCP設定（INPUT HDCP）

[TOP MENU → FUNCTION SETTING → INPUT HDCP]

入力のHDCP認証を強制的にOFFにする設定が可能です。
一部のソース機器（PCなど）は、シンク側のHDCP対応状態によって自動でHDCPを付けて出力する場合があります。その際に本機の出力にHDCP非対応機器が接続されている場合、表示がされません。当設定で入力HDCP認証を強制的にOFFするとソースのほうでHDCPを付けずに出力させることができ、表示が可能になります。この機能は入力端子別に設定が可能です。

```
<INPUT HDCP>
IN:▶1 2 3 4
```

まず入力端子番号の選択を行います。左右キーで選択しMENU/SETキーで次に進みます。

```
IN1<INPUT HDCP>
 OFF▶ON
```

ON/OFFを選択します。左右キーで選択時点で設定が変更されます。BACKキーで上階層に戻ります。デフォルトはONになっています。通常使用ではONのままをおすすめします。

6-6-5. LAN設定（LAN SETTING）

[TOP MENU → FUNCTION SETTING → LAN SETTING]

IPアドレス設定

```
<IP ADDRESS>
192. 168. 10■. 100
```

ドットで区切られた４つのグループ間を左右キーで移動し、それぞれの１の位の値を上下キーで変更します。MENU/SETキーで次のサブネットマスク設定へ進み、BACKキーでメインメニューへ戻ります。BACKキーでメインメニューへ戻った場合、変更した値は無効となります。

サブネットマスク設定

```
<SUBNET MASK>
255. 255. 25■. 000
```

操作方法はIPアドレスのときと同様です。
MENU/SETキーで次のデフォルトゲートウェイ設定へ進み、BACKキーで前のIPアドレス設定へ戻ります。

デフォルトゲートウェイ設定

```
<DEFAULT GATEWAY>
000. 000. 00■. 000
```

操作方法はIPアドレスのときと同様です。
MENU/SETキーで次のTCPポート設定へ進み、BACKキーで前のサブネットマスク設定へ戻ります。

TCPポート設定

```
<TCP PORT>
1000■
```

左右キーで桁を選択し、上下キーにてその桁の数値を変更します。
MENU/SETキーを押すことでここまでのLAN設定が保存されメインメニュー画面へ戻ります。
BACKキーで前のデフォルトゲートウェイ設定へ戻ります。

6-6-6. 各種設定の初期化（FACTORY RESET）

[TOP MENU → FUNCTION SETTING → FACTORY RESET]

各種設定を工場出荷状態に戻します。

ファクトリーリセットを選択すると、確認画面が表示されます。

```
＜FACTORY  RESET＞
▶CANCEL    OK
```

左右キーにてキャンセルまたはOKを選択します。OKを選択するとさらに再確認画面が表示されます。再度OKを選択することによりファクトリーリセットが実行されます。
ファクトリーリセット中は画面にWAIT表示がされ、しばらく操作ができません。

※注意：リセットにより、編集・保存したパターンおよびタイトル画像データは全て初期状態に戻ります。

＜ファクトリーリセット後の初期状態＞

項目	設定値
パターン設定	Pattern 1
出力解像度	OUT1：1080p、　OUT2：1080p
出力HDCP	ON
バックカラー	BLUE
EDID設定	IN1～4：4K@60 4:4:4
クロマキー	効果OFF
キーカラー最小値	R:000　G:030　B:000
キーカラー最大値	R:000　G:250　B:000
タイトル透過	効果OFF
タイトル透過色	A:000　B:000　C:000　D:000
入力HDCP	IN1～4：ON
IPアドレス	192.168.100.100
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
ポート	10001

6-7. 情報表示（INFORMATION）

[TOP MENU → INFORMATION]

接続された入力信号・出力信号の情報を表示します。

＜入力情報表示＞

```
＜ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ＞
ＩＮ１：１９２０ｘ１０８０　６０Ｈｚ　◆
```

各端子に接続されたHDMI映像信号情報が表示されます。上下キーにてIN１～4、OUT1～2を切換える事ができます。

入力あり　：解像度と垂直周波数の表示
入力なし　：NONE
末尾のマーク
　HDCP認証なし：無印
　HDCP認証あり：◆

※IN1,2に非対応のYUV4:2:0の信号を入力した場合、下図のように表示され、ウィンドウはバックカラー表示となります。

```
＜ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ＞
ＩＮ１：ＮＯ　ＳＵＰＰＯＲＴ　４２０
```

※入力信号が不安定で表示に時間がかかっている場合、下図のように表示されます。

```
＜ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ＞
ＩＮ１：ＤＥＴＥＣＴＩＮＧ
```

＜出力情報表示＞

```
＜ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ＞
ＯＵＴ１：３８４０ｘ２１６０　３０Ｈｚ◇
```

出力接続あり：解像度と垂直周波数の表示
出力接続なし：NONE
末尾のマーク
　HDCP認証なし：無印
　HDCP認証あり：◆
　HDCP認証失敗：◇

※出力がIN1同期モードで動いている場合、下図のような表示になります。

```
＜ＩＮＦＯＲＭＡＴＩＯＮ＞
ＯＵＴ１：３８４０ｘ２１６０　ＩＮ１　◆
```

※入出力に異常がある場合「NONE」の箇所に「ERROR」が表示されます。故障が考えられますので弊社にご連絡ください。

【7】通信コマンド制御

本機はLANケーブルを使用してPCからの通信コマンドによるリモート制御が可能です。

7-1. 通信仕様

①ネットワーク通信仕様

プロトコル	TCP/IP（Socket接続）
通信速度	10/100/1000 Mbps
形式	キャラクターコマンド形式(ASCII)

②コマンド終端

コマンド、およびコマンド応答の終端コードは‘CR’(0Dh)です。

7-2. コマンド一覧

機能	コマンド	概要	頁
ウィンドウ操作	set window	ウィンドウの位置・サイズを変更します。	34
	get window	表示中のウィンドウの情報を取得します。	34
	set trim	ウィンドウに表示する入力を切り出します。	35
	get trim	ウィンドウに表示する入力の切り出し状態を取得します。	35
	set priority	ウィンドウの優先順位を変更します。	36
	get priority	ウィンドウの優先順位番号を取得します。	36
	set input	ウィンドウに表示する入力を変更します。	36
	get input	ウィンドウに表示している入力番号を取得します。	37
	set output	ウィンドウの出力表示位置を選択します。	37
	get output	ウィンドウの出力表示位置を取得します。	37
	set flip	ウィンドウの映像の反転表示を設定します。	38
	get flip	ウィンドウの映像の反転表示設定を取得します。	38
パターン操作	load pattern	パターンを実行します。	38
	save pattern	表示中の状態をパターン登録します。	39
	get pattern	現在のパターン番号を取得します。	39
	set patname	パターン名称を設定します。	39
	get patname	パターン名称を取得します。	39
タイトル操作	set title	入力のタイトル表示の ON/OFF を設定します。	40
	get title	入力のタイトル表示の ON/OFF 状態を取得します。	40
	set titleposi	入力のタイトル表示位置を設定します。	40
	get titleposi	入力のタイトル表示位置を取得します。	41
	set titletrans	タイトルの透過の ON/OFF と透過色を指定します。	41
	get titletrans	タイトルの透過情報を取得します。	41

音声操作	set audio	出力する音声の入力番号を選択します。	42
	get audio	選択されている音声の入力番号を取得します。	42
出力操作	set outresolution	出力の解像度を設定します。	42
	get outresolution	出力の解像度を取得します。	43
	set multimonitor	出力の Multi Monitor Mode を設定します。	43
	get multimonitor	出力の Multi Monitor Mode を取得します。	43
	set synchronize	出力の入力同期モードを設定します。	43
	get synchronize	出力の入力同期モードを取得します。	44
その他	get information	現在の入出力情報を取得します。	44
セレクタ操作	set selectmode	パターン動作とセレクタ動作の切替えを設定します。	44
	get selectmode	パターン動作とセレクタ動作の状態を取得します。	44
	set selinput	セレクタ動作時の入力を選択します。	45
	get selinput	セレクタ動作時の選択されている入力を取得します。	45
	set seleffect	セレクタ動作時の切替え演出を選択します。	45
	get seleffect	セレクタ動作時の選択されている演出を取得します。	45
クロマキー操作	set chromakey	クロマキーの設定をします。	46
	get chromakey	クロマキーの設定を取得します。	46

※セレクタモード時無効コマンド（エラーになります）
set window / set trim / set priority / set input / set output / set flip /
load pattern / save pattern / set patname /
set multimonitor / set synchronize / set chromakey
※パターンモード時無効コマンド（エラーになります）
set selinput / set seleffect

7-3. コマンド詳細

7-3-1. コマンド説明

以降の説明中で使用している‘↵’はコマンド終端(CR)です。‘␣’は半角スペースです。
英数字は全て半角小文字を使用します。

コマンドが成功した場合は、データを返す、または以下の正常応答を返します。
コマンドが失敗した場合は、以下のコマンドエラー、またはパラメータエラーを返します。

正常応答　　‘ok’
コマンドエラー　‘command␣err’
パラメータエラー‘parameter␣err’

コマンド応答に‘ACK’となっているものは、正常応答、コマンドエラー、パラメータエラーのいずれかを返します。

7-3-2. ウィンドウ操作

ウィンドウ位置・サイズ変更

コマンド形態	set␣window=*window,left,top,width,height*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4
	left	ウィンドウの表示水平位置割合　0.00%～100.00%
	top	ウィンドウの表示垂直位置割合　0.00%～100.00%
	width	ウィンドウの表示幅割合　0.00%～100.00%　0.00%：非表示
	height	ウィンドウの表示高さ割合　0.00%～100.00%　0.00%：非表示
説明	指定したウィンドウ(*window*)の表示位置(*left,top*)と表示サイズ(*width,height*)を出力解像度の割合から変更します。 *left* + *width* と *top* + *height* の設定値は 100.00%を超える設定はできません。 設定の詳細は【６】付記（１）を参照	
送信例	ウィンドウ 1 の位置(25.00%,25.00%)と範囲(50.00%,50.00%)で表示します。	
	set␣window=1,2500,2500,5000,5000↵	
受信例	ok↵	

ウィンドウ情報取得

コマンド形態	get␣window=*window*↵	
コマンド応答	*window=left,top,width,height*↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all
	left	ウィンドウの表示水平位置割合　0.00%～100.00%
	top	ウィンドウの表示垂直位置割合　0.00%～100.00%
	width	ウィンドウの表示幅割合　0.00%～100.00%　0.00%：非表示
	height	ウィンドウの表示高さ割合　0.00%～100.00%　0.00%：非表示
説明	指定のウィンドウ(*window*)の情報を取得します。 取得する情報は位置(*left,top*)、サイズ(*width,height*)をカンマ（,）で区切り返信します。 ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、表示している全てのウィンドウ情報を取得します。各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。	
送信例１	ウィンドウ 1 の情報を取得する。	
	get␣window=1↵	
受信例１	1=2500,2500,5000,5000	
送信例２	表示中の全てのウィンドウの情報を取得する。	
	get␣window=all↵	
受信例２	1=0,0,5000,5000/2=5000,0,5000,5000/3=0,5000,5000,5000/4=5000,5000,5000,5000↵	

トリミング設定

コマンド形態	set␣trim=*window*,*h_posi*,*v_posi*,*h_trim*,*v_trim*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4
	h_posi	入力の切出し水平位置割合　0.00%～90.00%
	v_posi	入力の切出し垂直位置割合　0.00%～90.00%
	h_trim	入力の切出し幅　10.00%～100.00%
	v_trim	入力の切出し高さ　10.00%～100.00%
説明	指定したウィンドウ(*window*)の切出し位置(*h_posi*,*v_posi*)と切出し範囲(*h_trim*,*v_trim*) を入力解像度の割合から変更します。 *h_posi* + *h_trim* と *v_posi* + *v_trim* の設定値は 100.00%を超える設定はできません。 設定の詳細は【６】付記（２）を参照	
送信例	ウィンドウ１の入力の位置(25.00%,25.00%)と範囲(50.00%,50.00%)で切り出します。	
	set␣trim=1,2500,2500,5000,5000↵	
受信例	ok↵	

トリミング情報取得

コマンド形態	get␣trim=*window*↵	
コマンド応答	*window*=*h_posi*,*v_posi*,*h_trim*,*v_trim*↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all
	h_posi	入力の切出し水平位置割合　0.00%～90.00%
	v_posi	入力の切出し垂直位置割合　0.00%～90.00%
	h_trim	入力の切出し幅　10.00%～100.00%
	v_trim	入力の切出し高さ　10.00%～100.00%
説明	指定したウィンドウ(*window*)の入力の切り出し位置(*h_posi*,*v_posi*)と範囲(*h_trim*,*v_trim*)を取得します。 ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、表示している全てのウィンドウ情報を取得します。各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。	
送信例１	ウィンドウ１の入力切り出し状態を取得します。	
	get␣trim=1↵	
受信例１	1=2500,2500,5000,5000↵	
送信例２	表示中の全ての入力切り出し状態を取得する。	
	get␣trim=all↵	
受信例２	1=0,0,5000,5000/2=0,0,5000,5000/3=0,0,5000,5000/4=0,0,5000,5000↵	

ウィンドウ優先順位変更

コマンド形態	set␣priority=*window*,*order*↵		
コマンド応答	ACK↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4	
	order	top	最前面へ
		up	一つ前へ
		down	一つ後ろへ
		bottom	最背面へ
説明	指定したウィンドウ(*window*)の表示優先順位を変更します。 優先順位の指定は、*order*の中の何れかを指定します。		
送信例	ウィンドウ 1 を最前面に変更する。		
	set␣priority=1,top↵		
受信例	ok↵		

ウィンドウ優先順位情報取得

コマンド形態	get␣priority=*window*↵	
コマンド応答	*window* =*pri_num*↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all
	pri_num	表示優先順位番号（1：最背面、4：最前面）
説明	指定したウィンドウ（*window*)の表示優先順位を取得します。 ウィンドウ（*window*)に‘all’を指定した場合は、表示している全てのウィンドウ情報を取得します。各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。	
送信例１	ウィンドウ 1 の表示優先順位を取得します。	
	get␣priority=1↵	
受信例１	1=4	
送信例２	表示中の全てのウィンドウ情報を取得する。	
	get␣priority=all↵	
受信例２	1=4/2=3/3=2/4=1↵	

入力変更

コマンド形態	set␣input=*window*,*input*	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4
	input	入力 1～4
説明	指定したウィンドウ（*window*)に指定した入力（*input*)を表示します。	
送信例	ウィンドウ 1 の表示を入力 4 に切替える。	
	set␣input=1,4↵	
受信例	ok↵	

入力情報取得

コマンド形態	get␣input=*window*↵	
コマンド応答	*window* =*input*↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all
	input	入力 1～4
説明	指定したウィンドウ（*window*)に表示している入力（*input*)を取得します。ウィンドウ（*window*)に‘all’を指定した場合は、表示している全てのウィンドウの入力を取得します。各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。	
送信例１	ウィンドウ１に表示している入力を取得します。	
	get␣input=1↵	
受信例１	1=3↵	
送信例２	全てのウィンドウに表示中の入力を取得する。	
	get␣input=all↵	
受信例２	1=1/2=2/3=3/4=4↵	

出力表示位置変更

コマンド形態	set␣output=*window*,*output*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 3,4
	output	出力 1～2
説明	指定したウィンドウ(*window*)の表示する出力(*output*)を変更します。 Clone モード時は設定できません。 Dual モード時は *window1*：*output1*, *window2*：*output2* に固定です。	
送信例	ウィンドウ１の表示位置を出力２に切替える。	
	set␣output=1,2↵	
受信例	ok↵	

出力表示位置情報取得

コマンド形態	get␣output=*window*↵	
コマンド応答	*window*=*output*↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all
	output	出力 1～2
説明	指定したウィンドウ(*window*)の表示している出力(*output*)を取得します。ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、表示している全てのウィンドウの出力を取得します。 各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。	
送信例１	ウィンドウ１の表示している出力を取得します。	
	get␣output=1↵	
受信例１	1=2↵	
送信例２	全てのウィンドウが表示中の出力を取得する。	
	get␣output=all↵	
受信例２	1=1/2=2/3=1/4=2↵	

反転表示変更

コマンド形態	set␣flip=*window*,*h_flip*,*v_flip*↵		
コマンド応答	ACK↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4	
	h_flip, *v_flip*	off	通常表示
		on	上下左右反転表示
説明	指定したウィンドウ(*window*)の上下左右の反転表示 (h_fulip,v_flip)を変更します。		
送信例	ウィンドウ 1 の左右反転表示します。		
	set␣flip=1,on,off↵		
受信例	ok↵		

反転表示情報取得

コマンド形態	get␣flip=*window*↵		
コマンド応答	*window*=*h_flip*,*v_flip*↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all	
	h_flip, *v_flip*	off	通常表示
		on	上下左右反転表示
説明	指定したウィンドウ(*window*)の映像の反転情報(h_fulip,v_flip)を取得します。ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、全てのウィンドウの反転情報を取得します。各ウィンドウ情報は若番からスラッシュ（/）で区切られて返信します。		
送信例 1	ウィンドウ 1 の上下左右の反転情報を取得します。		
	get␣flip=1↵		
受信例 1	1=on,off↵		
送信例 2	全てのウィンドウの反転情報を取得する。		
	get␣flip=all↵		
受信例 2	1=on,off/2= on,off/3= on,off/4= on,off↵		

7-3-3. パターン操作

パターン実行

コマンド形態	load␣pattern=*pattern*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*pattern*	パターン 1～32
説明	指定したパターン(*pattern*)に表示を切り替えます。	
送信例	パターン 4 に表示を切り替える。	
	load␣pattern=4↵	
受信例	ok↵	

パターン登録

コマンド形態	save␣pattern=*pattern*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*pattern*	パターン 1～32
説明	表示中の構成を指定のパターン(*pattern*)に登録します。	
送信例	パターン 4 に登録する。	
	save␣pattern=4↵	
受信例	ok↵	

パターン番号取得

コマンド形態	get␣pattern=↵	
コマンド応答	pattern↵	
パラメータ	*pattern*	パターン 1～32
説明	選択されているパターン (pattern)を取得します。	
送信例	選択されているパターンを取得します。	
	get␣pattern=↵	
受信例	4↵	

パターン名称登録

コマンド形態	set␣patname=*pattern*,*name*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*pattern*	パターン 1～32
	name	登録するパターン名称 (半角 20 文字以内の英数字)
説明	指定のパターン(*pattern*)に名称(*name*)を登録します。	
送信例	パターン 3 に名称”Pattern 03“を登録する。	
	set␣patname=3,Pattern 03↵	
受信例	ok↵	

パターン名称取得

コマンド形態	get␣patname=*pattern*↵	
コマンド応答	pattern=name↵	
パラメータ	*pattern*	パターン 1～32
	name	パターン名称 (半角 20 文字以内の英数字)
説明	指定したパターン(pattern)の名称を取得します。	
送信例	パターン 2 (pattern) の名称 (name) を取得します。	
	get␣patname=2↵	
受信例	2=Pattern 02↵	

7-3-4. タイトル操作

タイトル表示ON/OFF設定

コマンド形態	set␣title=*window*,*flag*↵		
コマンド応答	ACK↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4	
	Flag	on	タイトル表示の ON
		off	タイトル表示の OFF
説明	指定のウィンドウ（*window*)のタイトル表示の表示・非表示の切替えを設定します。 タイトルは入力に依存します。		
送信例	ウィンドウ 1 のタイトルを表示に設定する。		
	set␣title=1,on↵		
受信例	ok↵		

タイトル表示ON/OFF状態取得

コマンド形態	get␣title=*window*↵		
コマンド応答	*window*=*flag*↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all	
	flag	on	タイトル表示の ON
		off	タイトル表示の OFF
説明	指定のウィンドウ(*window*)のタイトル表示の表示・非表示の状態を取得します。 ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、全てのウィンドウのタイトル表示状態を取得します。 各ウィンドウの情報はスラッシュ（/）で区切られて返信します。		
送信例１	ウィンドウ 2 のタイトル表示状態を取得する。		
	get␣title=2↵		
受信例１	2=on↵		
送信例２	全てのウィンドウのタイトル表示状態を取得する。		
	get␣title=all↵		
受信例２	1=on/2=on/3=off/4=off ↵		

タイトル表示位置設定

コマンド形態	set␣titleposi=*window*,*h_posi*,*v_posi* ↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4
	h_posi	タイトルの水平位置割合　0.00%～100.00%
	v_posi	タイトルの垂直位置割合　0.00%～100.00%
説明	指定のウィンドウ（*window*)のタイトル表示位置を出力解像度の割合から設定します。	
送信例	ウィンドウ 1 のタイトル表示位置を設定する。	
	set␣titleposi=1,0,0↵	
受信例	ok↵	

タイトル表示位置取得

コマンド形態	get␣titleposi=*window*↵		
コマンド応答	*window=h_posi,v_posi*↵		
パラメータ	*window*	ウィンドウ 1～4/all	
	h_posi	タイトルの水平位置割合　0.00%～100.00%	
	v_posi	タイトルの垂直位置割合　0.00%～100.00%	
説明	指定のウィンドウ(*window*)のタイトル表示の位置を取得します。 ウィンドウ(*window*)に‘all’を指定した場合は、全ての入力のタイトル表示位置を取得します。 各ウィンドウの情報はスラッシュ（/）で区切られて返信します。		
送信例１	ウィンドウ 2 のタイトル表示位置を取得する。		
	get␣titleposi=2↵		
受信例１	2=0,0↵		
送信例２	全てのウィンドウのタイトル表示位置を取得する。		
	get␣titleposi=all↵		
受信例２	1=0,0/2=0,0/3=0,0/4=0,0↵		

タイトル表示の透過設定

コマンド形態	set␣titletrans=*flag,color1,color2,color3,color4*↵		
コマンド応答	ACK↵		
パラメータ	*Flag*	on	タイトルの透過 ON
		off	タイトルの透過 OFF
	Color1～4	4 色指定	0～255
説明	タイトル表示の透過機能の有効・無効切替えと有効時の透過色 4 色を設定します。 すべてのウィンドウが共通の設定になります。 256 色で設定します。		
送信例	タイトルの透過機能を無効にします。		
	set␣titletrans=off		
	タイトルの透過機能を有効にして透過色を 4 色指定します。		
	set␣titletrans=on,199,200,201,202↵		
受信例	ok↵		

タイトル表示の透過設定取得

コマンド形態	get␣titletrans=↵		
コマンド応答	*flag,color1,color2,color3,color4*↵		
パラメータ	*flag*	on	タイトルの透過 ON
		off	タイトルの透過 OFF
	Color1～4	4 色指定	0～255
説明	タイトル表示の透過設定を取得します。		
送信例１	タイトル表示の透過設定を取得する。		
	get␣titletrans=↵		
受信例１	on,199,200,201,202↵		

7-3-5. 音声操作

音声選択

コマンド形態	set␣audio=*output*,*input*↵	
パラメータ	*output*	出力 1～2
	input	入力 1～4, 0：Mute
コマンド応答	ACK↵	
説明	指定の出力(*output*)に音声入力 (*input*)を設定します。 ACK を返信します。 Clone モードで動作している際には出力 2 は選択できません。	
送信例	出力 1 に入力 4 の音声を出力する。	
	set␣audio=1,4↵	
受信例	OK↵	

音声取得

コマンド形態	get␣audio=*output*↵	
コマンド応答	*output*=*input*↵	
応答パラメータ	*output*	出力 1～2
	input	入力 1～4, 0：Mute
説明	指定の出力(*output*)に選択されている音声の入力 (*input*)を取得します。 Clone モードで動作している際には出力 2 は選択できません。	
送信例	出力 1 に現在選択されている音声の入力を取得する。	
	get␣audio=output↵	
受信例	1=4↵	

7-3-6. 出力操作

出力解像度選択

コマンド形態	set␣outresolution=*output*,*resolution*↵		
コマンド応答	ACK↵		
パラメータ	*output*	出力 1～2	
	resolution	解像度 1～15	1:4K DCI@60, 2:4K DCI@30, 3:4K UHD@60, 4:4K UHD@30, 5: 1080p, 6:1920x1200, 7:1600x1200, 8:1400x1050, 9:1280x1024, 10:1024x 768, 11: 800x 600, 12: 640x 480, 13: USER1, 14: USER2, 15: USER3 (USER1～3 には選択肢にない解像度をメーカにて登録できます。)
説明	指定の出力(*output*)に設定したい解像度(*resolution*)を選択します。 Clone モードで動作している際には出力 2 は選択できません。		
送信例	出力 1 に解像度 5 を選択します。		
	set␣outresolution=1,5↵		
受信例	OK↵		

出力解像度取得

コマンド形態	get␣outresolution=*output*↵	
コマンド応答	*output= resolution* ↵	
パラメータ	*output*	出力 1～2
	resolution	解像度 1～15
説明	指定の出力(*output*)に選択されている解像度(*resolution*)を取得します。 Clone モードで動作している際には出力 2 は選択できません。	
送信例	出力 1 に選択されている解像度を取得する。	
	get␣outresolution=output↵	
受信例	1=5↵	

出力マルチモニターモード設定

コマンド形態	set␣multimonitor=*flag*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*flag*	clone　出力 1、2 の解像度を同じ設定にします。
		dual　出力 1、2 の解像度をそれぞれ異なる設定ができます。
説明	マルチモニターモードを変更します。	
送信例	マルチモニターモードを clone に設定します。	
	set␣multimonitor=clone↵	
受信例	OK↵	

出力マルチモニターモード取得

コマンド形態	get␣multimonitor=↵	
コマンド応答	*flag*↵	
パラメータ	*flag*	clone　出力 1、2 の解像度を同じ設定にします。
		dual　出力 1、2 の解像度をそれぞれ異なる設定ができます。
説明	マルチモニターモードの設定（flag）を取得します。	
送信例	マルチモニターモードの設定（flag）を取得します。	
	get␣multimonitor=↵	
受信例	clone↵	

出力の入力同期モード設定

コマンド形態	set␣synchronize=*flag*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*flag*	off　出力 1、2 は、すべての入力に非同期になります。
		on　出力 1、2 は、入力 1 番に同期します。
説明	入力同期モードを変更します。 MVW を複数台利用して拡大表示させる際に機器の同期タイミングを合わせます。 入力 1 番に入力がない場合、自動的に入力に非同期になります。 注意：出力と入力の信号仕様が一致している必要があります。	
送信例	出力 1、2 を入力 1 に同期させます。	
	set␣synchronize=on↵	
受信例	OK↵	

出力の入力同期モード取得

コマンド形態	get␣synchronize=↵	
コマンド応答	*flag*↵	
パラメータ	*flag*	off　出力 1、2 は、すべての入力に非同期になります。
		on　出力 1、2 は、入力 1 番に同期します。
説明	入力同期モードの設定（flag）を取得します。	
送信例	入力同期モードの設定（flag）を取得します。	
	get␣synchronize=↵	
受信例	on↵	

7-3-7. その他

入力情報取得

コマンド形態	get␣information=↵	
コマンド応答	*input1, input2, input3, input4, output1, output2*↵	
パラメータ	*input1～4* *output1～2*	表示解像度と V 周波数,HDCP 状態 NONE：入力、出力の信号や接続がなし、ERROR：入力もしくは出力の故障 NO420：入力 1,2 に非対応の 4:2:0 信号が入力されている 各入出力情報の末尾の表示　h：HDCP 認証あり、？：HDCP 認証不具合
説明	すべての入力の解像度と V 周波数と出力の解像度と V 周波数を取得します。	
送信例	すべての入力の解像度と V 周波数と出力の解像度と V 周波数を取得します。	
	get␣information=↵	
受信例	1920x1080@60h,1920x1080@60 ,NONE,1920x1080@60 ,1920x1080@60 ,NONE↵	

セレクタモード設定

コマンド形態	set␣selectmode=*flag*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*flag*	off　パターン切替え動作モード（通常動作）
		on　入力切替え動作モード
説明	入力のセレクタとして動作させる際に設定（flag）を有効にします。	
送信例	入力セレクタとして動作します。	
	set␣selectmode=on↵	
受信例	OK↵	

セレクタモード取得

コマンド形態	get␣selectmode=↵	
コマンド応答	*flag*↵	
パラメータ	*flag*	off　パターン切替え動作モード（通常動作）
		on　入力切替え動作モード
説明	入力セレクタモードの設定（flag）を取得します。	
送信例	入力セレクタの設定（flag）を取得します。	
	get␣selectmode=↵	
受信例	on↵	

入力切替え設定（セレクタ動作時に有効）

コマンド形態	set␣selinput=*input*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*input*	1～4
説明	設定した入力（*input*）を表示します。	
送信例	入力 1 を表示します。	
	set␣selinput=1↵	
受信例	OK↵	

入力切替え取得

コマンド形態	get␣selinput=↵	
コマンド応答	*input*↵	
パラメータ	*なし*	
説明	表示している入力（input）を取得します。	
送信例	表示している入力（input）を取得します。	
	get␣selinput=↵	
受信例	1↵	

入力切替え演出設定（セレクタ動作時に有効）

コマンド形態	set␣seleffect= *effect*↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*effect*	seamless,fadeio,wipeud,wipeslit
説明	入力切替え時の切替え演出（effect）を設定します。	
送信例	演出を seamless に設定します。	
	set␣seleffect=seamless↵	
受信例	OK↵	

入力切替え演出取得

コマンド形態	get␣seleffect=↵	
コマンド応答	effect↵	
パラメータ	*なし*	
説明	設定されている切替え演出（effect）を取得します。	
送信例	設定されている切替え演出（effect）を取得します。	
	get␣seleffect=↵	
受信例	seamless↵	

クロマキー設定

コマンド形態	set␣chromakey= output,flag,r_l,g_l,b_l,r_h,g_h,b_h↵	
コマンド応答	ACK↵	
パラメータ	*output*	1/2 クロマキーを有効にする出力を指定
	flag	off　　クロマキー動作無効
		on　　クロマキー動作有効
	r_l,g_l,b_l	0～255　　キーカラーの RGB の下限値を設定
	r_h,g_h,b_h	0～255　　キーカラーの RGB の上限値を設定
説明	ウィンドウ 1 が指定のキーカラーによりクロマキー動作します。 （DUAL モード時の出力 2 ではウィンドウ 2 が同様の動作になります。） （有効時 Win1 最優先、DUAL モード時：Win2 次優先の固定になります。） 注） キーカラーの範囲を大きくすると意図しない色がキーカラーとして認識される場合があります。 キーカラーのウィンドウのカラーフォーマットは入出力一致を推奨します。	
送信例	出力 1 にクロマキーの無効を設定します。	
	set␣chromakey=1,off↵	
	出力 1 にクロマキーの有効とキーカラーの上下限値を設定します。	
	set␣chromakey=1,on,0,30,0,0,250,0↵	
受信例	OK↵	

クロマキー取得

コマンド形態	get␣chromakey=output↵	
コマンド応答	flag,r_l,g_l,b_l,r_h,g_h,b_h ↵	
パラメータ	output	指定の output に設定されているクロマキー情報を取得します。
説明	設定されているクロマキー情報（flag,r_l,g_l,b_l,r_h,g_h,b_h）を取得します。	
送信例	出力 1 に設定されているクロマキー情報（flag,r_l,g_l,b_l,r_h,g_h,b_h）を取得します。	
	get␣chromakey=1↵	
受信例	on,0,30,0,0,250,0↵	

7-4. コマンド使用時の注意事項

本体のフロントキー入力によるメニュー操作に入っている状態ではコマンドを受け付けません。本体がトップ画面の状態でコマンド操作を行ってください。

ウィンドウ操作コマンドは、対象となるウィンドウが表示されている状態で使用して下さい。

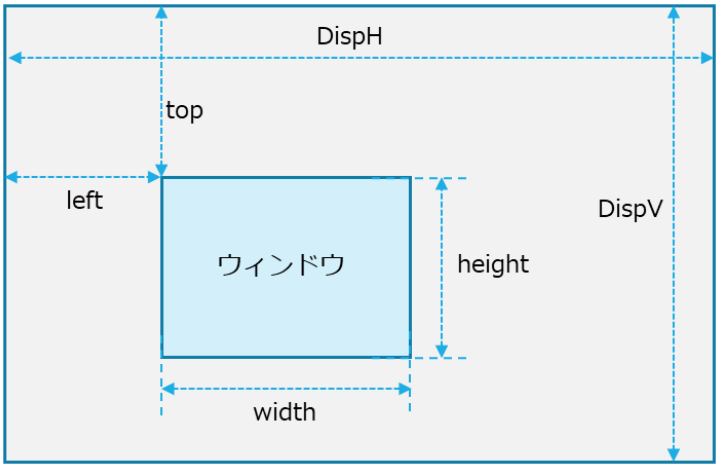
コマンドを連続して送信する場合には、必ずコマンド応答を受信してから次のコマンドを送信して下さい。

ウィンドウ操作コマンドは、コマンド受信のタイミングにより表示に反映されるまでに若干の遅延が生じる場合があります。

7-5. 付記

7-5-1. ウィンドウ表示

出力の解像度に対して比率でウィンドウの位置・サイズを設定します。



例. 出力の解像度1920x1080の時left：10.00%, top：20.00%, width：40.00%, height：40.00%

DispH ：1920（出力水平解像度）
DispV ：1080（出力垂直解像度）
left ：1920 x 10.00% ＝ 192
top ：1080 x 20.00% ＝ 216
width ：1920 x 40.00% ＝ 768
height：1080 x 40.00% ＝ 432

出力解像度が変更になっても割合で表示されます。

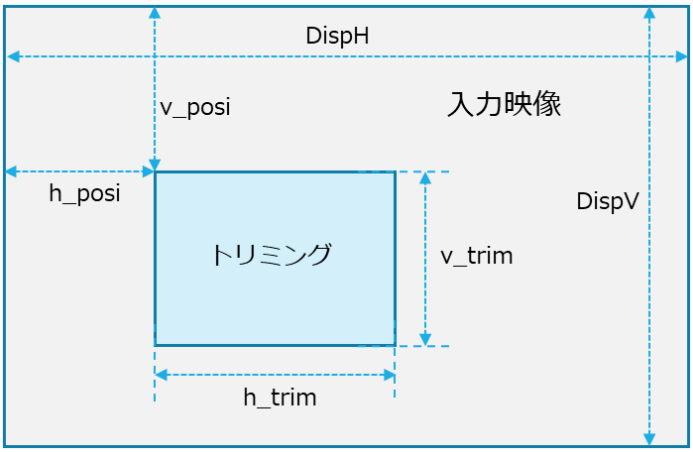
制限について

left + widthが100%を超えることはできません。

top + heightが100%を超えることはできません。

7-5-2. トリミング（切り取り）

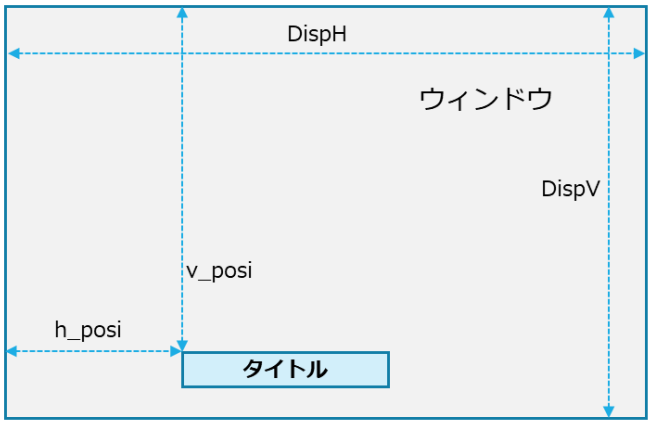
入力の解像度に対して比率でトリミングの位置・サイズを設定します。
トリミングした部分がウィンドウに表示されます。



例. 入力の解像度1920x1080の時h_posi：10.00%, v_posi：20.00%, h_trim：40.00%, v_trim：40.00%
DispH ：1920（入力水平解像度）
DispV ：1080（入力垂直解像度）
h_posi：1920 x 10.00% ＝ 192
v_posi：1080 x 20.00% ＝ 216
h_trim：1920 x 40.00% ＝ 768
v_trim：1080 x 40.00% ＝ 432
入力解像度が変更になっても割合で表示されます。
制限について
h_posi + h_trimが100%を超えることはできません。
v_posi + v_trimが100%を超えることはできません。

7-5-3. タイトル位置

ウィンドウに対して比率でタイトルの位置を設定します。



例. ウィンドウのサイズ800x600の時h_posi：30.00%, v_posi：80.00%
DispH ：800
DispV ：600
h_posi：800 x 30.00% ＝ 240
v_posi：600 x 80.00% ＝ 480
ウィンドウの表示サイズに応じてタイトル位置が変化します。
制限について
タイトルがウィンドウサイズを超える場合、超えたタイトル部分は表示されません。

【8】Webコントローラ

本機はLANで接続されたPCのWebブラウザから、Webアプリ“MVW42 Web Controller”によるリモート制御が可能です。

8-1. 動作環境　&　注意事項

ブラウザ：Google Chrome

“MVW42 Web Controller”の操作は本体がトップ画面の状態で行ってください。本体がメニュー操作画面中はWeb操作が無効となります。（Web画面の更新も無効となります）

8-2. 構成

“MVW42 Web Controller”は下記の5つから構成されます。

ⅰ．メニュー
① 項ⅱ～ⅳページの切替え

ⅱ．Controlページ
Controlページは動作モード（パターンモード、セレクターモード）に応じて操作できる内容が変わります。

【パターンモード】
①表示レイアウト制御
②入力切替え
③音声切り替え
④ウィンドウ表示／非表示切替え
⑤パターン呼出し／登録

【セレクタモード】
①入力切替え
②切替えエフェクト選択
③音声切替え

ⅲ．Output Configページ
①出力モード切替え（Clone、Dual、Selector）
②出力解像度切替え

ⅳ．Trimmingページ
①映像切り出し調整

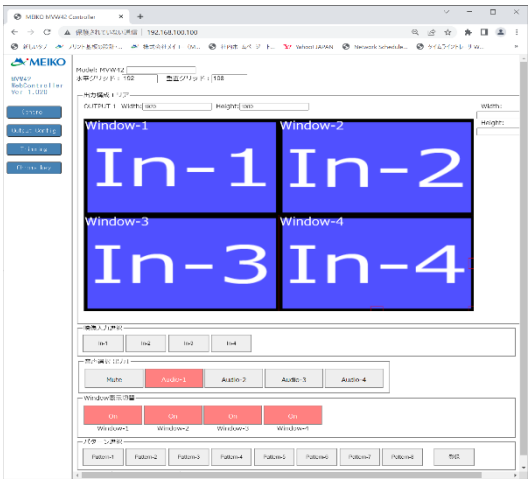
ⅴ．Chroma keyページ
①透過色設定

8-3. 操作説明

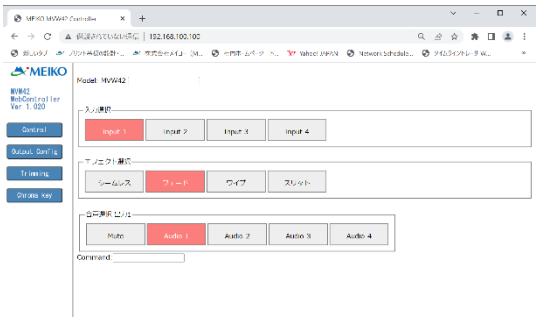
8-3-1. 起動

ブラウザを起動しアドレス欄にMVW42のIPアドレスを入力してください。
「MVW42 Web Controller」画面が表示されます。
【例】http://192.168.100.100

【パターンモード時】



【セレクタモード時】



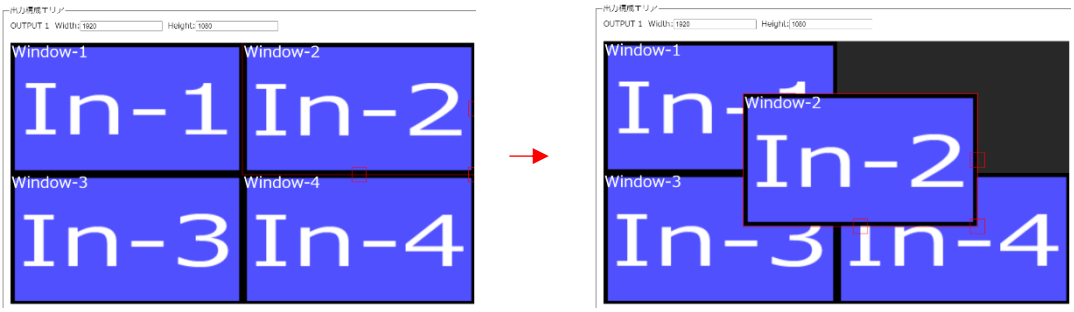
8-3-2. 制御画面切替え

左側メニュー欄の【Control】【Output Config】【Trimming】【Chroma key】ボタンの押下で項ⅱ～ⅳの画面に切替わります。



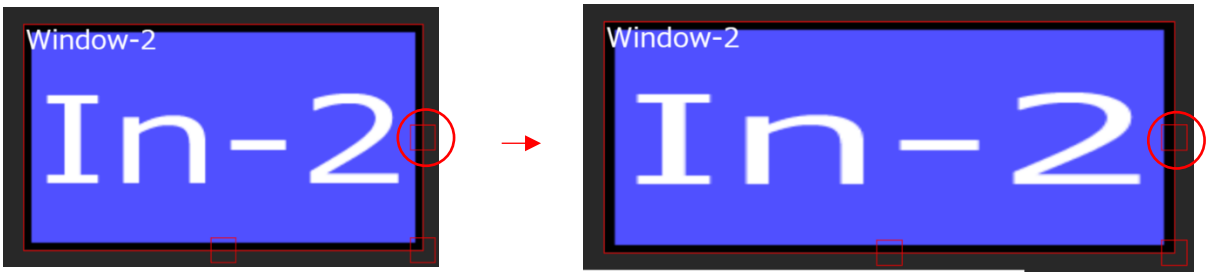
8-3-3. ウィンドウ移動【Controlページ-パターンモード時】

制御したいウィンドウをドラッグ＆ドロップ操作で移動します。
可変値は項8-3-5. グリッド調整で行ってください。



8-3-4. ウィンドウサイズ変更【Controlページ-パターンモード時】

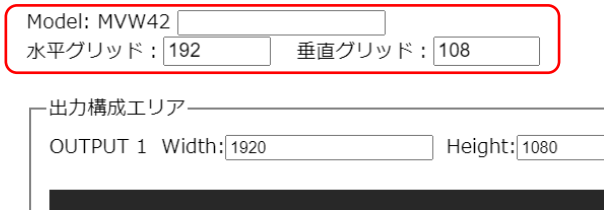
制御したいウィンドウをクリックすると枠が選択色(赤)に変わります。
枠線上のサイズ変更カーソルのドラッグ＆ドロップ操作でサイズを変更できます。
可変値は項8-3-5. グリッド調整で行ってください。



※ウィンドウに重なりがあるとき、選択したウィンドウ内でダブルクリックすると、そのウィンドウが最前面に移動します。

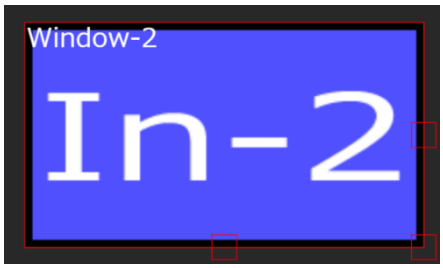
8-3-5. グリッド調整【Controlページ-パターンモード時】

ウィンドウ調整の可変値を水平グリッドと垂直グリッドそれぞれ変更できます。
ページ読み込み時の初期値は水平＝192、垂直＝108になります。

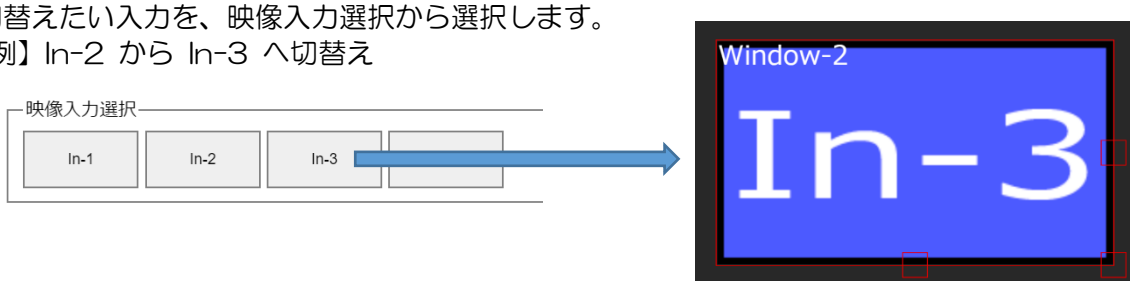


8-3-6. 入力変更【Controlページ-パターンモード時】

制御したいウィンドウをクリックすると枠が選択色(赤)に変わります。



切替えたい入力を、映像入力選択から選択します。
【例】In-2 から In-3 へ切替え



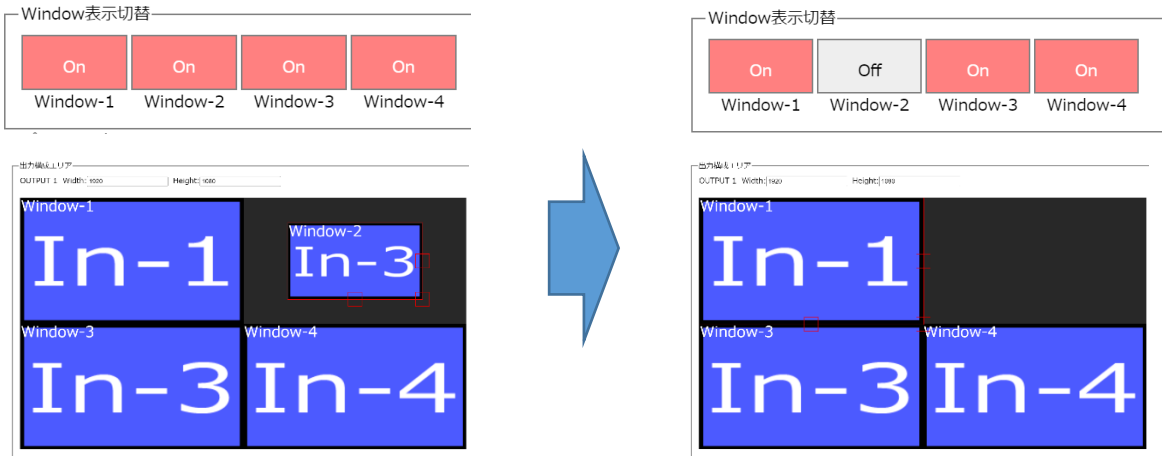
8-3-7. 音声選択【Controlページ-パターンモード、セレクタモード共通】

出力したい音声ボタンを選択します。Mute選択時に音声は出力されません。



8-3-8. ウィンドウ表示／非表示切替え【Controlページ-パターンモード時】

切替えたいウィンドウの表示切替えボタンを押下します。



8-3-9. パターン切替え【Controlページ-パターンモード時】

本体に登録してある表示状態を呼び出します。
呼び出したいパターンボタンを選択します。



8-3-10. パターン登録【Controlページ-パターンモード時】

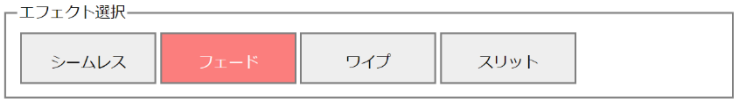
現在の表示状態を選択したパターンに登録します。
登録ボタンを押下します。選択されるとボタンが選択色(橙)に変わります。
選択を解除するには再度登録ボタンを押下します。



登録ボタンが選択中に登録したいパターンボタンを押下します。
登録が完了すると登録ボタンの選択が解除されます。

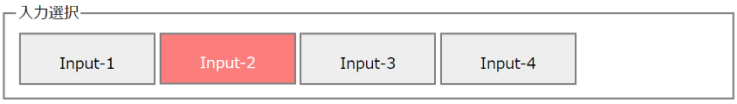
8-3-11. 入力変更【Controlページ-セレクタモード時】

①切替え時のエフェクトをエフェクト選択から選択します。



- シームレス　―　切替えのエフェクト無く瞬時に切替わります。
- フェード　―　切替え前の映像が徐々に消えて切替わります。
- ワイプ　―　出力中央から上下に分かれて切替わります。
- スリット　―　出力が横方向にスリット状に分かれて切替わります。

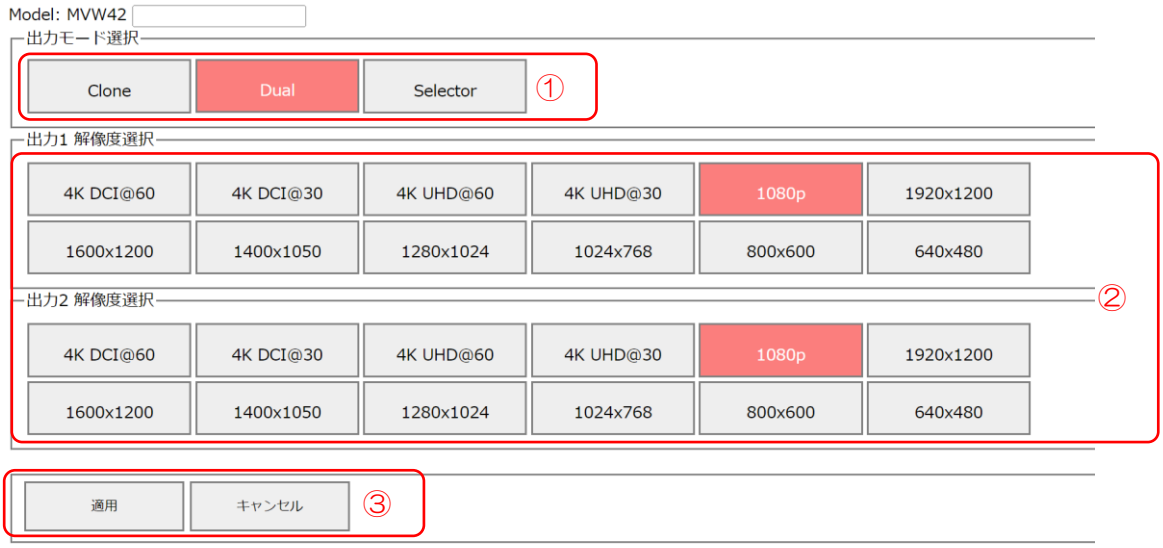
②切替えたい入力を、映像入力選択から選択します。



8-3-12. 出力モード切替え【Output Configページ】

①出力モードを選択します。
Clone、Selector選択時は出力１、２共同じ映像が出力されます。
②出力解像度を選択します。
Clone、Selector選択時は出力１の解像度だけ選択できます。
③適用ボタンを押下します。
①②の内容に切り替えます。出力モードが変更になります。
適用を行わず現在の設定状態に戻す場合は、キャンセルボタンを押下してください。

※Clone、Dualへの適用を行ってもパターンには登録されません。設定した内容を記録するには【Controlページ】のパターン登録を行ってください。



8-3-13. 映像切り出し調整【Trimmingページ-パターンモード時】

①調整を行いたいウィンドウを選択します。
②トリミング枠を操作し、切り出したい範囲を選択します。
調整値は④トリミング値に表示されます。④トリミング値は数値入力で設定することもできます。
③適用ボタンを押下します。
①②の内容を適用します。
適用を行わず現在の設定状態に戻す場合は、キャンセルボタンを押下してください。

※適用を行ってもパターンには登録されません。設定した内容を記録するには【Controlページ】のパターン登録を行ってください。



※セレクタモード時にトリミング機能は使用できません。下のメッセージが表示されます。



8-3-14. クロマキー調整【Chroma keyページ-パターンモード時】

①クロマキー機能の有効ボタンを選択します。
クロマキー機能を無効にする場合は無効ボタンを選択してください。
無効の場合は②の調整はできません。
②透過をさせたい各色(R,G,B)の下限値と上限値を調整します。
調整方法はスライドバー、テキスト入力、カラーパレットから行えます。
③適用ボタンを押下します。
①②の内容を適用します。
適用を行わず現在の設定状態に戻す場合は、キャンセルボタンを押下してください。



※セレクタモード時にクロマキー機能は使用できません。下のメッセージが表示されます。



【9】使用上のご注意

■HDMIケーブル抜け防止
HDMIケーブルの抜け防止の為、付属のケーブルクランプのご利用をお勧め致します。
使用例：コネクター上部の穴にケーブルクランプを差し込み固定し、下図の様にHDMIケーブル側を固定しケーブルの抜けを防止します。



■AC電源のON/OFF
本機は動作中に不揮発性メモリへの書き込みが行なわれる場合があります。パターンの保存中やメニューの数値を変更した直後などメモリ書込み中に電源をOFFしないようにしてください。

■機器の発熱
本機は、非常に高い周波数で動作しているため内部の部品が高温になります。冷却のため、側面の吸気孔・排気孔を塞がないように設置してください。
本体基板上の温度が制限値を超えた場合、フロントディスプレイに「TEMPERATURE ALARM」の点滅表示がされ、入出力デバイスが強制OFFし全ての映像表示が消えます。また全てのキー操作が無効になります。この状態は電源OFFするまで継続します。

■HDMIケーブル
4K60Hz(4:4:4)などの高ビットレートで使用の際は18Gbps対応PremiumハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。また、ソース側機器やケーブルの性能により伝送可能ケーブル長が短くなる場合があります。

■HDCP認証
HDCP認証に要する時間には多少ばらつきがありますので、信号出力が安定するまでに数秒かかる場合があります。

■LIMIT表示（出力映像の乱れ）について
4K映像を複数入力した場合など、信号処理が本機のメモリ処理性能のリミットを超えた場合に画像が乱れることがあり、その状態ではフロントディスプレイに“L!”表示がされます。その場合、ウィンドウサイズを小さくするなど調整をおこない“L!”表示が消えた状態でご使用ください。
補足：出力4Kにて入力4K映像をフルサイズで何面もウィンドウ設定すると（ウィンドウが完全に隠れていても）リミットになりやすいです。見えていないウィンドウのサイズを0%にするなどでメモリ読み書き処理を削減できます。

【10】主な仕様

型式	MVW42	
HDMI入力	信号	TMDSクロック：～297MHz、データレート：～17.8Gbps、 HDCP1.4/2.2対応
	映像	ピクセルクロック：25～594MHz、水平周波数：15kHz～ 135kHz、垂直周波数：24Hz～120Hz、 VGA～UXGA、WUXGA-RB、480i～1080p、4K
	音声	8ch LPCM、 サンプリング周波数：～192kHz、量子化ビット数：～24bit
	コネクタ	HDMI-Type-A　×4
HDMI出力	信号	TMDSクロック：～297MHz、データレート：～17.8Gbps、 HDCP1.4/2.2対応
	映像	ピクセルクロック25MHz～594MHz 640x480、800x600、1024x768、1280x1024、 1600x1200、1920x1200、1080p、4K UHD、4K DCI
	音声	8ch LPCM、 サンプリング周波数：～192kHz、量子化ビット数：～24bit
	コネクタ	HDMI-Type-A　×3（内、入力1パススルー端子×1）
ケーブル最大距離	HDMI入力	30m（1080p4:4:4）、12m（4K60Hz4:4:4）
外部制御	LAN	1系統10Base-T / 100Base-TX (Auto Negotiation)、 Auto MDI/MDI-X 、　端子：RJ45×1
USB端子	USB2.0ホストポート 端子：USB-Type-A×1	
動作時温度範囲	±0℃～＋40℃	
動作時湿度範囲	20%～90%（結露なきこと）	
非動作時温度範囲	－10℃～＋50℃	
非動作時湿度範囲	20%～90%（結露なきこと）	
電源電圧	AC100V～240V±10%　50/60Hz	
消費電力	50W（最大）	
質量	約3.5kg	
外形寸法(mm)	430(W)×44(H)×300(D)mm　（EIA 1Uサイズ、突起物除く）	
付属品	AC電源ケーブル：1本、ラックマウント金具：1式、ケーブルクランプ：7個	

※仕様は改良等により変更される場合があります。

【11】製品保証

保証規定

●本製品の製造・検査には万全を期しておりますが、お客様の正常なご使用状態のもとで万一メーカー側の起因による製品の故障が発生した場合は、工場にて無償修理致します。

ただし、ユーザーのコンピュータ、ハードウェア、ソフトウェアや、インターフェースの互換性に関する問題は、この保証の対象に含まれません。

また、この保証は、本製品の使用不可能、または本製品を使用することで生じた損害等についていかなる責任を負うものではありません。

●保証期間内においても次の場合は有償となります。

・お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、取扱が適正でないために生じた故障・損傷の場合。
・火災・地震・水害等の天災地変, 暴動・戦争等の人災および異常電圧による故障・損傷の場合。
・本製品に接続している他の機器に起因する故障の場合。
・弊社以外で修理・調整・改造・改良を行なった場合。
・本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取扱によって生じた故障・損傷の場合。

●保証に関する規定は日本国内のみ有効とさせていただきます。また、輸送に関する費用はお客様側でご負担いただく場合があります。

●保証期間　　購入日より１年間

【12】製品の修理・調整について

修理・調整規定

●本製品は工場修理対象品です。技術者がユーザー側に出向いての修理・調整は原則として行ないません。万一本製品が故障した場合は、故障品をお送りいただき、弊社工場にて修理を行ないます。なお、やむを得ず現地修理となる場合は実費を請求させていただきます。

●ケーブル・フロッピーディスク等、消耗品に関しての修理・調整は行ないません。

●お客様側で作成された画像データ、ソフトウェアに関しての修理・調整は行ないません。

●本製品の販売終了後も弊社の定める期間において保守用部品を保有しています。
保守可能期間につきましては製品により異なりますのでお問い合わせください。

なお、この期間を超えた場合の修理に関しましては別途御相談ください。部品メーカーの生産中止等による修理不能の際、代替部品などでその機能を維持することができる場合もございます。

●本製品の故障に起因する、あるいは取扱の不備等に起因する他の機器の連鎖故障・ソフトウェアの破損に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

※故障品をお送りいただく場合は、故障状況の詳細・連絡先を明記の上、輸送時のトラブルが発生しないよう、購入時の梱包状態でお送りください。

※修理手続き、費用等につきましては、ご購入になりました販売店、または弊社までお問い合わせください。





保 証 書

持込修理

この保証書は本書記載内容で製品の保証を行なうことをお約束するものです。

品　　名	HDMIマルチビューワ	型　　式	MVW42
保証対象	本　　体	保証期間	お買い上げ日より1年間

☆製品シリアル番号	

★お買い上げ日	年　　月　　日

★お客様	ふりがな お 名 前 〒 ご 住 所 電話番号 E-Mail
★販売店	住所・店名

☆印欄(製品シリアル番号)は、メーカー出荷時に予め登録され本書への記載が省略される場合があります。
★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認下さい。

製品の製造・検査には万全を期しておりますが、お客様の正常なご使用状態のもとで万一メーカー側の起因による製品の故障が発生した場合は、工場にて無償修理致します。
ただし、ユーザーのコンピュータ、ハードウェア、ソフトウェアや、インターフェースの互換性に関する問題は、この保証の対象に含まれません。
また、この保証は、本製品の使用不可能、または本製品を使用したことで生じた損害、逸失利益等について、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

①保証期間内においても次の場合は有償となります。
- お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
- 火災・地震・水害等の天災地変、暴動・戦争等の人災および異常電圧による故障・損傷の場合。
- 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取扱によって生じた故障・損傷の場合。
- 本製品に接続している他の機器に起因する故障の場合。
- 弊社以外で修理・調整・改造・改良を行なった場合。

②本製品は工場持込修理対象品となります。出張修理となる場合は、出張に要する実費を申し受けます。
③地域により、輸送に関する費用をお客様側でご負担いただく場合があります。
④保証に関する規定は日本国内のみ有効です。Effective only in Japan.
⑤本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて製品保証を行なうものであり、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社　メイコー

お客様へのお願い

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一お気づきの点や、ご不明点がありましたらご一報ください。
4. 本製品の仕様、外観等につきましては予告なく変更することがあります。
5. 本製品のハードウェアやソフトウェアの一部または全部を複製、あるいはリバースエンジニアリング等により利用することは禁止されています。
6. 本製品が外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当する場合には、日本国外に輸出する際に日本国政府の許可が必要です。
7. 運用した結果については上記各項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

HDMIマルチビューワ
MVW42

取扱説明書　第2版
2021年　10月 1日　初版発行
2022年　4月 1日　第2版発行

株式会社　メイコー

©2021 by MEIKO ELECTRONICS CO.,LTD.

■ 製品についてのお問合せは…

お客様相談窓口 株式会社メイコー	TEL 0467-33-8019　　FAX 0467-76-0368 受付時間　月曜～金曜　午前9時～午後5時（休業日を除く）

■ ホームページ

株式会社メイコー 映像機器部URL	http://www.meiko-iv.com/
株式会社メイコー 総合URL	http://www.meiko-elec.com/

MEIKO ELECTRONICS CO., LTD.

■ 製造販売元　　株式会社メイコー　映像機器部
〒252-1104　神奈川県綾瀬市大上5-14-15